



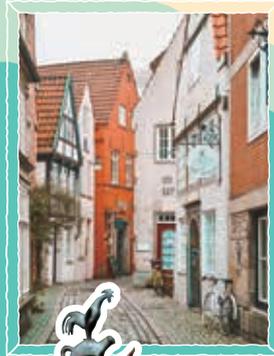
愛知大学

海外留学のてびき

Study Abroad Guide



Germany



Canada



Lithuania



United Kingdom



France



China



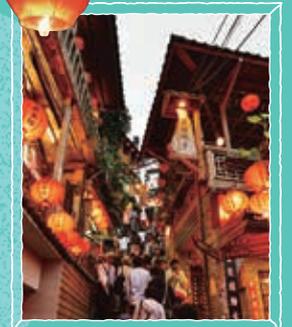
United States



South Korea



Taiwan



Thailand



Vietnam



Malaysia



Indonesia



Australia



海外留学のマピキ

CONTENT

03 国際交流委員長のあいさつ

03 主な留学の方法

04 プランニング・自分に合った留学とは？

05 国際交流課の紹介

06 本学の海外留学制度

06 ❶ 海外短期語学セミナー

07 セミナー実施校 Pick Up !

08 ❷ 認定留学／1セメスター認定留学

08 認定留学制度

08 1セメスター認定留学制度

10 ❸ 交換留学制度

11 交換留学制度実施状況等一覧表

12 認定留学・交換留学制度の概要と出願資格

13 ❹ 休学中の留学／留学斡旋業者の利用について

14 費用に関すること

15 海外留学のための奨学金制度

16 海外留学のための資料・情報

17 留学体験談

17 海外短期語学セミナー

19 1セメスター認定留学

20 交換留学

24 海外協定校紹介

30 さくら21プロジェクト

31 グローバルラウンジ/ランゲージセンター

32 海外留学 Q&A

34 留学までのスケジュール

35 協定留学生の声

国際交流委員長のあいさつ



国際交流委員長
経済学部教授
川端朋広

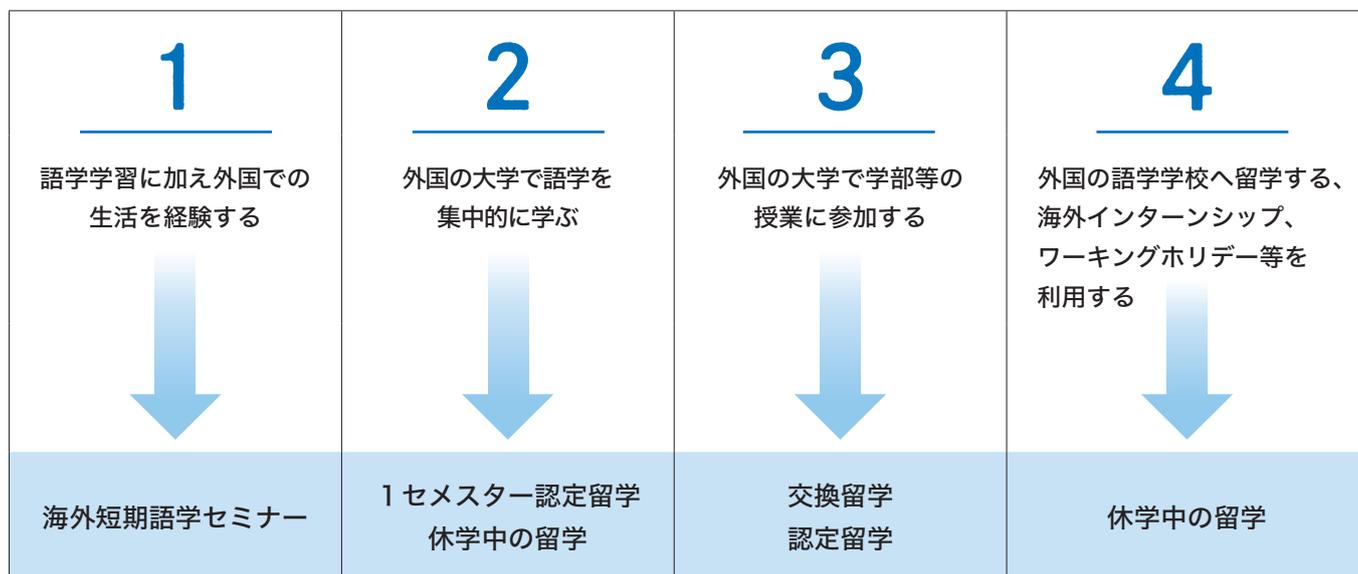
我々は皆、長年にわたって英語を学び、大学に入ってから未修外国語も学んでいます。しかし、国内では授業以外でなかなかそれらを使う機会も少なく、海外の事情も分かっているようで、意外と具体的なことはわかりません。

例えば、アメリカのとある大学生協では、日本でも一番人気の少年漫画雑誌（英語版！）が売られていました。イギリスの大学の学食では、パック寿司の弁当が売られており、味も悪くありませんでした。海外の駅や空港では、Hello Kitty のぬいぐるみがお土産として普通に売られています。国際化社会と言われて久しいですが、海外の文化を取り入れることはよく行われている反面、日本の文化が海外でどのように扱われているかを実体験で知ることは、国内ではできないでしょう。

また、留学先の授業では他の国からの学生たちと一緒にすることもありますが、中東の学生などは、多少、文法が不正確でも、グイグイと発言してきます。お店では、閉店時間の10分前にはもう客を入れてくれなくなりますが、その一方で、買い物しただけで妙にたくさん話しかけてくれる店員さんもいます。こうしたコミュニケーションの取り方における違いは、やはり訪れてみないとわからないことが多いでしょう。

世界は多様なのです。それを体感するのに、留学ほど最適な経験はありません。言葉が伝わらなくて悔しい思いもするでしょう。だからこそ、通じたときの喜びは非常に大きなものになります。本学では、様々な留学プログラムを用意しておりますので、それをぜひ活用して、一生の思い出になるような経験をつんできてください！

✦ 主な留学の方法



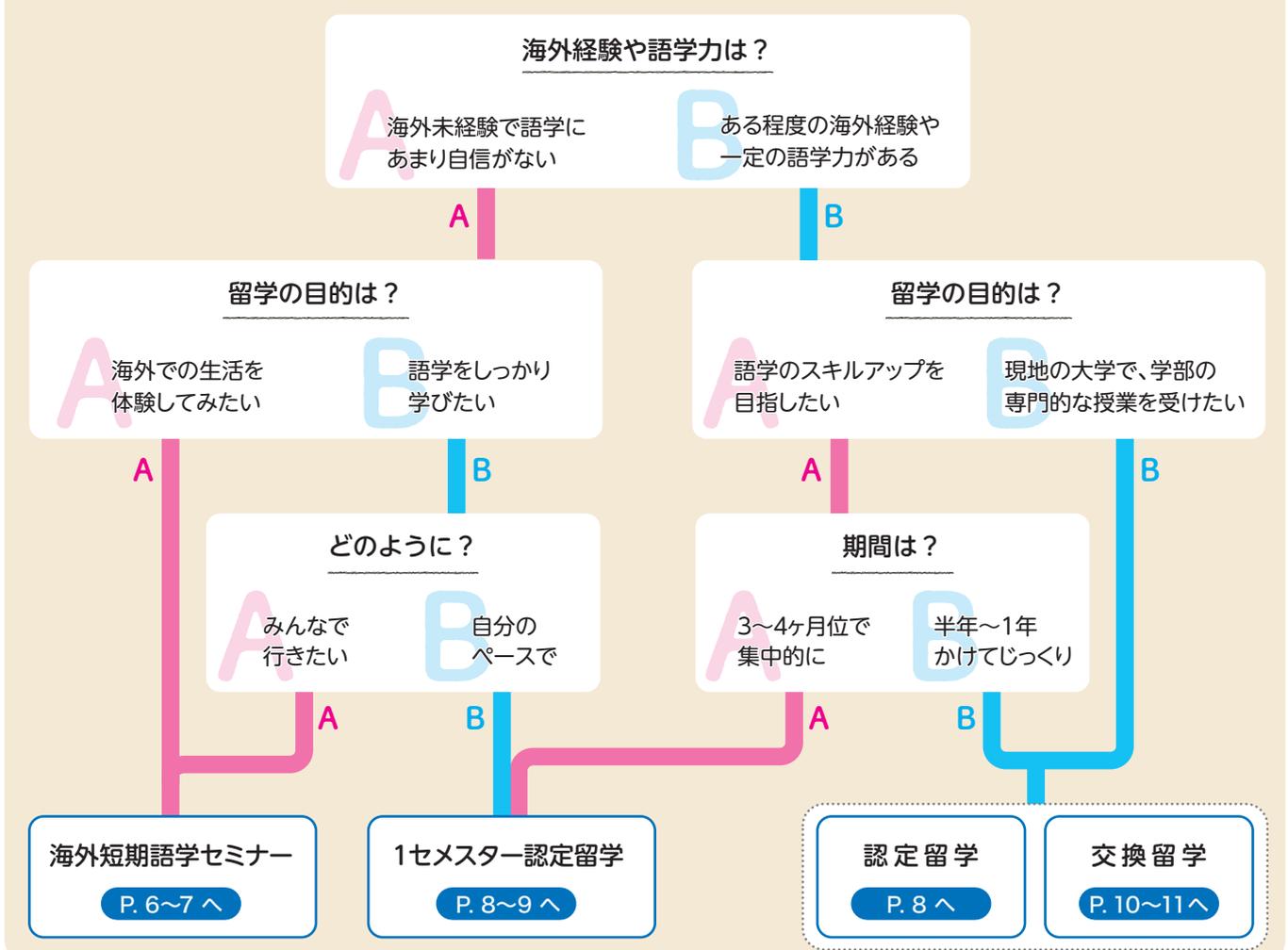
★ プランニング——留学の目的を明確に——

留学によって「何を、どんなふうに勉強したいのか」「将来の目標は何か」をじっくりと自分に問いかけましょう。留学の目的が明確になれば、さまざまな留学方法の中から自分の目的の実現に最適な方法を決めることができます。

✓ 「留学のマイベストプラン」づくりのためのセルフチェック

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> なぜ留学したいのか？ | <input type="checkbox"/> 留学でどんな成果が得られれば「成功」したと思えるのか？ |
| <input type="checkbox"/> どんな留学をしたいのか？ | <input type="checkbox"/> 今考えている国だけが選択肢か？ |
| <input type="checkbox"/> いつ留学するのが効果的か？ | <input type="checkbox"/> 「留学」がベストな選択肢か？ |
| <input type="checkbox"/> 将来、どんな仕事をしたいか？ | <input type="checkbox"/> 留学のための費用はどうか？ |
| <input type="checkbox"/> 留学終了後の進路は？ | |

★ 自分に合った留学とは？



✦ 国際交流課の紹介

国際交流課では、海外への留学を希望する学生を対象に主に以下の業務を行っています。
留学について分からないことがあれば、遠慮なく問い合わせてください。

1

交換留学生・ 1セメスター認定留学生の派遣

本学と学術・教育交流協定を締結している大学等へ、交換留学生と1セメスター認定留学生を派遣しています。

※学生自身で希望する留学先を決定する認定留学や休学留学は、教務課の扱いとなります。

2

海外短期語学セミナーの実施

夏休み・春休みを利用して、各国で約1カ月のセミナーを実施しています。また、協定校が実施するオンラインによるプログラムについても紹介しています。

3

留学相談・留学報告会等の実施

国際交流課の窓口業務取扱時間中は、いつでも海外留学に関する相談を受け付けています。また、留学経験者や留学生などによる留学報告会やガイダンスなども随時行っています。

4

国際交流に係る情報の提供

国際交流課及びグローバルラウンジ内にて、海外留学に関する資料や情報を閲覧・検索することができます。一部の図書については貸し出しも行なっています。

※グローバルラウンジの利用については、P.31をご覧ください。

5

国際交流イベントの実施

本学に受け入れている留学生や海外協定校の学生等との交流を図るため、各種イベントを実施しています。実施時期等については国際交流課の掲示板及びLive Campusを通じてお知らせしています。

6

TOEFL-ITPの実施

英語圏への留学に必要な語学力を測定するためのテストであるTOEFL (Test of English as a Foreign Language) には各種ありますが、国際交流課ではITP (Institutional Testing Program) と呼ばれるテストプログラムを年5回(4・6・9・10・11月を予定)実施しています。

国際交流課の設置場所と窓口業務取扱時間

名古屋校舎

設置場所	窓口業務取扱時間	
厚生棟5階	平日(月～金)	
	午前 9:00～12:00	午後 12:30～17:00

豊橋校舎

設置場所	窓口業務取扱時間	
本館1階	平日(月～金)	
	午前 9:00～12:00	午後 13:00～17:00

注) 海外留学に関する相談は9:00～12:00、13:00～17:00の間、受け付けています。

注) 通常講義期間外の午後の窓口業務取扱時間は13:00からになります。

夏季・冬季休業日や入学試験期間中などは窓口を臨時閉鎖することがあります。

✦ 本学の海外留学制度

1 海外短期語学セミナー

語学力の向上とともに、各国の歴史や文化に触れ、国際的な視野と教養を高めることを目的とし、また、長期留学へのステップとして、以下の各国・地域で、夏休み・春休みを利用して実施しています。セミナー参加者で所定の手続きを済ませた者には、留学先大学での学修成果に応じて（合格点に達した者）、一定の単位が認定されます。またセ

ミナーに参加し、所定のプログラムを修了した学生には、愛知大学後援会から「後援会海外短期語学セミナー奨励金」として一律2万円が給付されます（ただし在学中一人1回限り）。

セミナーについての詳細は毎年4月、9月頃に実施するガイダンスに参加して確認してください。

夏期海外短期語学セミナー

実施期間：8月上旬～8月下旬（3～4週間）／募集人数：20人

名称	留学先	都市名	特徴
アメリカセミナー	トリード大学	オハイオ州 トリード	本学学生のための独自プログラムです。近郊の博物館、美術館への見学や教室外のアクティビティ、ホームステイ体験を通じてアメリカ文化を体験的に学習します。
ハワイセミナー	ハワイ大学 リーワードコミュニティ カレッジ	オアフ島 ホノルル	パールハーバーを見渡せるホノルル近郊都市パールシティに校舎があり、ワイキキビーチやダイヤモンドヘッドの素晴らしい景色が楽しめます。レイ作りやフラダンスといった教室外での体験学習が豊富です。
イギリスセミナー (注)	エクセター大学	デヴォン州 エクセター	温暖な気候で自然に恵まれた、イギリス南部の地域です。レベルに応じたクラスに所属し本学以外の学生との交流も体験できます。授業外の時間では、学校から提供されるアクティビティに自由に参加することができ、イギリス伝統の文化を楽しむことができます。

(注) イギリスセミナーには次のいずれかの英語能力を有する者のみ参加が認められます。IELTS：3.0以上6.5以下、TOEIC：400点以上800点以下（カレッジTOEIC可）、TOEFL ITP：400点以上577点以下、TOEFL IBT：32点以上90点以下

春期海外短期語学セミナー

実施期間：2月上旬～3月下旬（3～5週間）／募集人数：20人

名称	留学先	都市名	特徴
カナダセミナー	クイーンズ大学	オンタリオ州 キングストン	カナダの東部にあり、歴史のある名門大学です。週末には、トロントやナイアガラの滝、モントリオールへの小旅行が含まれ、様々なカナダの景色を楽しめます。
オーストラリア セミナー	クイーンズランド大学	クイーンズランド州 ブリスベン	オーストラリア国内でも特に優れたトップ校の1つであり、世界中から英語を学びに来た学生と共に学ぶことができます。希望者は、週末を利用して美しい自然を体験する様々なアクティビティに参加することができます。
フランスセミナー	オルレアン大学	ロワレ県 オルレアン	世界遺産であるモンサンミッシェルへの小旅行、歴史的な建物が残る市内観光がプログラムに含まれ、言語と共に歴史も体験できるセミナーです。

その他、中国・韓国・ドイツなど、ご希望の方は、ご相談ください。

- * 募集を行わない年度や、希望人数によっては実施しない場合があります。
- * 滞在方法は、ホームステイもしくは、寮となります。
- * プログラム費用は50万円～60万円程度が目安となります。（各セミナーにより異なります。）内訳としては、航空券、授業料、海外保険、ホームステイにかかる費用となります。これ以外に現地での食事代（昼食）等が別途かかります。
- * セミナーによっては、授業以外の観光、アクティビティにかかる費用が別途発生する場合があります。

- * 原則、往路は本学教員が引率します。
- * 英語圏以外のセミナー参加は、当該言語を履修中もしくは履修済であることが条件です。
- * 英語圏のセミナー参加者は自分自身でセミナー参加前後の語学力を知るためにも、出発前及び帰国後開催のTOEFL-ITP又は出願時の英語能力試験を受験することを推奨しています。
- * 実施時期、費用等は諸々の事情により変更します。あくまで参考に留めておいてください。



Pick Up!



オーストラリアセミナー

クイーンズランド大学

UNIVERSITY OF QUEENSLAND

東海岸に位置するクイーンズランド州のブリスベンにある州内最古の総合大学であり、施設、研究などの様々な分野で最高峰と言われる国内8つの大学で構成された、Group of Eightの1つとしても有名です。セミナーでは大学の英語コース (ICTE) に所属し、レベル分けされた少人数のクラスで英語を学びます。一緒に学ぶ他国からの留学生と交流ができるのも特徴です。休日には、近郊の都市や観光地への日帰り旅行を楽しむこともできます。



イギリスセミナー

エクセター大学

UNIVERSITY OF EXETER



ロンドンから電車で2時間半のところに位置するデヴォン州のエクセターは、治安の良さや自然の美しさが住みやすい街として人気です。また、エクセター大学はイギリスの優良大学上位10位に常にランクインする程の高い評価を受けています。このセミナーでは、エクセター大学の語学学校が主催するサマーコースに参加し、短期間での語学力向上を目指します。他にも市内観光や伝統的な食文化など、様々な面からイギリスの魅力を体験できます。



ハワイセミナー

ハワイ大学 リーワードコミュニティカレッジ

UNIVERSITY OF HAWAII LEEWARD COMMUNITY COLLEGE

ハワイ州オアフ島のパールシティにあり、ハワイにあるコミュニティカレッジの中で2番目に大きな規模です。観光客の多い、ワイキキやホノルルから少し離れた閑静な住宅街にあるため、落ち着きのある雰囲気の中で勉強に励むことができます。このセミナーは、愛知大学オリジナルのプログラムで、地理や歴史、文化に触れながら英語の様々なスキルを学びます。また、フラダンスやレイ作りなどハワイならではのアクティビティーも充実しています。



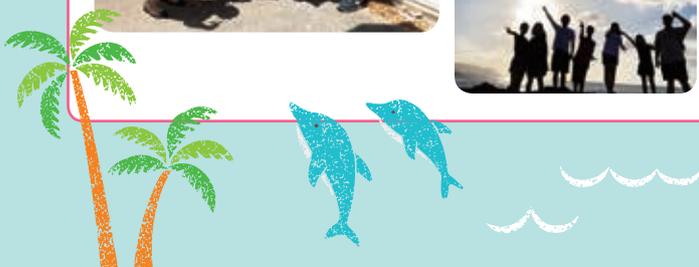
フランスセミナー

オルレアン大学

UNIVERSITY OF ORLEANS



パリから南へ130km行ったところに位置する、ロワレ県オルレアンは、中世の街並みが残る美しい街として知られています。このセミナーでは、会話中心の総合的なフランス語を学び、その中でフランスの地理や歴史、文化についても学習します。他にも世界遺産のモンサンミッシェルへのエクスカーションや、ホームステイを通してフランスの日常生活に接し、異文化体験ができるなど充実したプログラムになっています。



留学制度
本学の海外

2 認定留学／1セメスター認定留学

● 認定留学制度

認定留学制度とは、学位の授与権を有する外国の大学^(注)の正規の課程に留学を希望する学生が所定の手続きをし、教授会において許可されれば、本学に在学したまま留学することが認められる制度です。留学先は、提携校でも可能ですし、希望する海外の大学への留学も条件次第で認められます(外国の政府又は大学及び公共性が強く本学が相当と認めた公私団体の奨学制度による留学も認定留学に含みます)。留学先の大学で修得した単位は、所属する学部教授会・大学院研究科委員会の議を経て、学部にあつては30単位、短期大学部にあつては15単位、大学院にあつては10単位、専門職大学院にあつては36単位を上限として単位認定されます。ただし、すでに他大学等で修得した単位

を本学の単位として認定されている場合、これとの合算で上記の単位数が上限となります。

留学期間中は、本学の学費の一部と留学先の学費との双方の負担が必要となりますが(詳しくはP.14参照)、本学から1学期につき一律5万円、2学期10万円を上限として「認定留学奨励金」が給付されます(ただし、日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)奨学金採用決定者は上記奨励金との併給はできません)。このほか、愛知大学後援会からも「後援会認定留学奨励金」として一律5万円が給付されます(ただし、在学中一人1回に限りです)。

認定留学を希望する者は、「留学願」及びその他の必要書類を揃えて手続き期限までに教務課へ提出してください。

(注)留学先の決定にあつては、本学の海外協定校(P.24～)及び『世界大学年鑑』(International Handbook of Universities)なども参考にしてください。

● 1セメスター認定留学制度

認定留学制度の一環として、本学では、語学学習を中心に特定の大学で学ぶ「1セメスター認定留学制度」を実施しています。また、留学先で修得した単位は15単位を目

安に単位認定されます。派遣にあつては、選考のための試験を行っています。選考試験は、志願書(和文・英文)・面接等になります。詳細は募集要項にて確認してください。

1セメスター認定留学 留学先

- ・授業料は、2019年の実績をもとにしています。
- ・奨学金制度のある大学は、授業料から奨学金を差し引いた金額を記載しています。

● 春学期出発 ▶▶▶ 留学期間：5月上旬～8月下旬 ●

カナダ



クイーンズ大学 School of English English for Academic Purposes (EAP)

派遣人員：30名以内

- 1 1841年に創立された歴史ある名門大学付属の語学学校
- 2 ホームステイを通してカナダの生活を体験できる！
- 3 夏のカナダの壮大で美しい自然を満喫！

授業料(目安)：5,700カナダドル

*この他に、ホームステイ費用、生活費、渡航費、保険料等がかかります。

出願資格：TOEFL PBT 435点(TOEFL ITPも可) iBT 41点以上 IELTS 4.0以上 TOEIC 530点以上(カレッジTOEICも可)

出願期間：9月中旬～11月下旬 選考日：12月上旬 発表日：12月中旬

オンタリオ州 キングストン

<https://qsoe.educ.queensu.ca>



アメリカ



サウスイーストミズーリ州立大学 Intensive English Program (IEP)

留学期間：8月中旬～12月中旬(4ヶ月) 派遣人員：30名以内

- 1 1873年に創立され、4年制州立大学の内、最も歴史のある総合大学
- 2 学内の寮でアメリカ人や多国籍な学生との交流を楽しめる！
- 3 アメリカのイベントが多い時期と重なるので、様々なアメリカ文化を体験できる！
(サンクスギビングやハロウィンなど)

授業料(目安)：5,700アメリカドル

*この他に、寮費(ミールプラン含)、生活費、渡航費、保険料等がかかります。

出願資格：TOEFL PBT 435点(TOEFL ITPも可) iBT 41点以上 IELTS 4.0以上 TOEIC 530点以上(カレッジ TOEICも可)

出願期間：3月中旬～4月上旬 選考日：4月中旬 発表日：4月下旬

ミズーリ州 ケープジラード

<https://semo.edu>



イギリス



ニューカッスル大学 Academic English

留学期間：9月中旬～12月上旬(3ヶ月) 派遣人員：10名程度

- 1 自分の目的に合わせて、寮とホームステイを選べる！
- 2 大学と寮は徒歩1分の距離で、周辺には生活に必要なお店がそろっているので便利！
- 3 中世の街並みやお城が残る都市で、オランダへのアクセスも良い！

授業料(目安)：4,900イギリスポンド

*この他に、滞在費(ホームステイ/寮)、生活費、渡航費、保険料等がかかります。

出願資格：TOEFL PBT 435点(TOEFL ITPも可) iBT 41点以上 IELTS 4.0以上 TOEIC 530点以上(カレッジ TOEICも可)

出願期間：3月中旬～4月上旬 選考日：4月中旬 発表日：4月下旬

タイン・アンド・ウィア州 ニューカッスル・アボン・タイン

<https://www.ncl.ac.uk>



イギリス



クイーンズ大学 BISC English for University Study Course

留学期間：9月上旬～12月上旬(3ヶ月) 派遣人員：若干名

- 1 お城がそのままキャンパスになっており、貴重な体験ができる！
- 2 大学の学部にも所属し、イギリスの歴史や文化について英語で学ぶ
- 3 授業で学んだことを週末のフィールドスタディで実際に現場に行き体感できる！

プログラム費用(目安)：13,800カナダドル

*この他に、渡航費、保険料等がかかります。

出願資格：TOEIC(Listening & Reading) 725点以上(カレッジTOEIC可) IELTS 6.5以上(※TOEFLは不可)

※その他の語学資格でも受け入れ可能な場合がある。

出願期間：3月中旬～3月下旬 選考日：4月中旬 発表日：4月下旬

イースト・サセックス州 ハールシャム

<https://www.queensu.ca/bisc>



3 交換留学制度

交換留学制度は、本学と海外の学術教育交流提携校との交流協定に基づく留学制度です。選考のうえ選抜された学生は在学したまま留学でき、留学先の大学で修得した単位は所属する学部教授会・大学院研究科委員会の議を経て、学部にあつては30単位、短期大学部にあつては15単位、大学院にあつては10単位、専門職大学院にあつては36単位を上限として単位認定されます。ただし、すでに他大学等で修得した単位を本学の単位として認定されている場合、これとの合算で上記の単位数が上限となります。

また、この制度による留学は、本学の学費は全額を納入しなければなりません。留学先大学での学費等が免除となります。さらに、本学から1学期につき一律20万円、2学期40万円を上限として「交換留学奨励金」が支給されます。ただし、日本学生支援機構の海外留学支援制度（協定派遣）奨学金採用決定者は上記奨励金との併給はできません。

交換留学派遣にあたって

交換留学生は、愛知大学の代表として、大学が推薦し本学協定校に派遣するものです。派遣にあたっては語学力や学業成績だけでなく、学習意欲や、渡航後の日常生活などにおいても本学の代表としての自覚を持ち行動することが求められます。現地での学習内容は語学のみならず、協定大学において学部の授業を受講し専門知識を深める機会も得られますが、長期間にわたり海外で生活しながら、継続して積極的に学習に励む必要がありますので、出願にあたっては、留学目的や学習目標、卒業後の将来設計など、自身でしっかりと考え、明確にしたうえで検討するようにしてください。また、交換留学においては、入学手続きや、ビザ申請などの渡航に関する諸手続きも各自で行う必要があります。この冊子や国際交流課にはこれまで留学した先輩の留学体験談が紹介されていますので、これらも是非参考にしてください。



交換留学制度実施状況等一覧表

※詳細は必ず当該年度の募集要項で確認してください。

※すべての留学先大学において学費は免除です。

留学先	大学名	留学 始期	募集人員 (予定)	選考日程	備考
中国	南開大学	春学期 又は 秋学期	各大学 若干名	出願期間：9月中旬 選考日：9月下旬 発表日：10月中旬 ※中国国家教育部が推薦する大学 については、12月頃別途募集を 行う予定です。 また、中国国家教育部が推薦す る大学は交換留学先大学ではあ りませんが、待遇はそれに準じ ます。	待遇：中国の研究者との交換 ・ 宿舎費免除 ・ 奨学金支給 学生交換 ・ 学費免除のみ (注) 東南大学、東北師範大学の留学期間は 1セメスターも可
	北京語言大学				
	北京第二外国語学院				
	上海外国語大学				
	東南大学				
	東北師範大学				
	廈門大学				
	南通大学				
	中国国家教育部が 推薦する大学	秋学期			
台湾	国立台湾師範大学	春学期	2名		(注) 輔仁大学の留学期間は1セメスターも可
	東呉大学	又は 秋学期	2名		
	輔仁大学		2名		
韓国	中央大学校	春学期	2名		(注) 留学期間は1セメスターも可
	建国大学校		2名		
アメリカ	トリード大学	秋学期	5名	出願期間：9月中旬～10月下旬 選考日：11月上旬 発表日：12月中旬	出願資格：TOEFL 500(ITP)以上・61(iBT)以上 累積 GPA：2.0以上
	ハワイ大学 コミュニティカレッジ		2名		出願資格：TOEFL 500(ITP)以上・61(iBT)以上 累積 GPA：2.5以上 (注) 留学期間は1セメスターも可
	サウスイーストミズーリ 州立大学		若干名		
リトアニア	ミーコラス・ロメリス大学	秋学期	1名		出願資格：TOEFL 500(ITP)以上・61(iBT)以上
ベトナム	貿易大学	秋学期	2名		出願資格：TOEFL 500(ITP)以上・61(iBT)以上 累積 GPA：2.0以上
フランス	オルレアン大学	秋学期	2名	出願期間：9月中旬～11月下旬 選考日：12月上旬 発表日：1月下旬	(注) 留学期間は1セメスターも可
	パリ・デイドロ(第7)大学		2名		
ドイツ	ブレーメン経済工科大学	春学期	2名	出願期間：9月中旬 選考日：9月下旬 発表日：10月中旬	(注) 留学期間は1セメスターも可
タイ	ナレースワン大学	春学期	2名	出願期間：9月中旬～10月中旬 選考日：10月下旬 発表日：11月上旬	出願資格：累積 GPA 2.0以上
	シンラバコーン大学		2名		

* 選考試験の項目は、志願書（日本語・各国語）、各国語筆記（英語圏以外）、各国語会話、面接（日本語）です。

* 募集人員は各大学との学生交換協定書に基づいています。詳細は当該年度の募集要項で確認してください。

* 記載内容は2020年度のものになります。出願資格・募集人数は変更となる場合があるので、必ず募集要項で確認してください。

* アメリカ、リトアニア、ベトナムは「英語で学ぶ交換留学」として募集します。

「交換留学制度」と「認定留学制度」の概要は次のとおりです。

イ. 留学の出願資格・条件

次の(1)～(3)の全てに該当する者。

- (1) 「学生の外国留学に関する規程」第3条の「留学の出願資格」に該当する者。
 - ①学部（短期大学部を含む。）学生については、別表に定める要件を満たす者。
 - ②大学院（専門職大学院を含む。）学生については、大学院に半年以上在学している者。
 - ③①にかかわらず、特別の事情があると教授会又は国際交流委員会が認めた場合、出願することができる。
- (2) 心身共に健康で留学期間中、学業に専念でき、かつ留学期間終了後、本学において学業を継続、または本学の学位を取得する見込みである者。
- (3) 留学中の本学への学費並びに留学に伴う経費を確実に支払うことができる者。

ロ. 留学の期間

2年を限度とし、1年を修業年限に算入することができます。

ハ. 単位の認定

留学先の大学で修得した単位は、所属する学部教授会・大学院研究科委員会の議を経て、学部においては30単位、短期大学部においては15単位、大学院においては10単位、専門職大学院においては36単位を上限として単位認定されます。ただし、すでに他大学等で修得した単位を本学の単位として認定されている場合、これとの合算で上記の単位数が上限となります。

※出願資格・条件は変更される場合もありますので、必ず当該年度の募集要項で詳細を確認ください。

留学の出願資格(学部)【別表1】(2018年度以降入学生)

学部	年次	交換留学	認定留学
<ul style="list-style-type: none"> ●法学部 ●経済学部 ●経営学部 ●現代中国学部 ●国際コミュニケーション学部 ●文学部 ●地域政策学部 ●短期大学部 	1年次 (短期大学部 1年次を含む)	学部に半年以上在学し、かつ前の学期までに卒業に必要な授業科目を18単位以上修得した者。	学部に半年以上在学し、前の学期までに卒業に必要な授業科目を11単位以上修得した者。
	2年次 (短期大学部 2年次を含む)	前の学年までに卒業に必要な授業科目を36単位以上修得した者。	前の学年までに卒業に必要な授業科目を22単位以上修得した者。
	3年次	前の学年までに卒業に必要な授業科目を71単位以上修得した者。 ただし、3年次編入学生については、学部に半年以上在学し、かつ前の学期までに卒業に必要な授業科目を18単位以上修得(編入学時に認定された単位は除く)した者。	前の学年までに卒業に必要な授業科目を56単位以上修得した者。 ただし、3年次編入学生については、学部に半年以上在学し、かつ前の学期までに卒業に必要な授業科目を11単位以上修得(編入学時に認定された単位は除く)した者。
	4年次 以上	前の学年までに卒業に必要な授業科目を100単位以上修得した者。 ただし、3年次編入学生については、前の学年までに卒業に必要な授業科目を36単位以上修得(編入学時に認定された単位は除く)した者。	前の学年までに卒業に必要な授業科目を80単位以上修得した者。

※2017年度以前の入学生は、「学生の外国留学に関する規程」別表2を参照

4 休学中の留学

交換留学制度・認定留学制度のほか、休学して休学中に留学することも可能です。ただし、留学期間は修業年限に算入されません。

なお、学部生については、休学して外国の大学等に留学した場合、一定の条件を満たしていれば、「休学期間中に外国の大学で修得した授業科目の単位認定に関する規程」により、留学先大学等で修得した単位は教授会の議を経て本学の単位として認定されます（詳細は留学前迄に名古屋・豊橋教務課へ問い合わせてください）。

※短期大学部、大学院、専門職大学院は本規程の対象になりません。

● 認定単位数

上記規程により、学部生については、休学期間が半年間では4単位まで、1年間では8単位までとし、通算では8単位を上限として、留学先大学等で修得した単位を認定します（すでに他大学等で修得した単位を30単位まで本学の単位として認定されている場合は、本制度による単位認定はできません）。

また、休学期間中の本学への学費等は在籍料のみとなります（別途、委託徴収金がかかる場合があります。休学の申請は名古屋／豊橋教務課（大学院は大学院事務課）で扱っています（以下、留学斡旋業者の利用についても参照）。

◆ 在籍料……1学期につき5万円



本学の海外
留学制度



留学斡旋業者の利用について

海外で勉強するためには何より自主性が不可欠です。留学のための様々な手続きをすすめる作業は、現地の留学・教育制度などに対する理解や語学力を高めるだけでなく、留学についての自分の目的・考えを明確にしなが、自分で判断し行動していく力をつける大切なプロセスです。留学のための準備・手続きは自分自身で進めることが基本です。必要な情報の提供や情報収集の仕方についてのアドバイスは国際交流課を利用しましょう。また各国大使館等が主催する留学フェアに参加することも意義があります。しかし、中には斡旋業者などによるサービスの利用を望む方もいるでしょう。その場合、自分自身の責任と判断により、自分の目的にあった業者・プログラムを慎重に選ぶことが大切です。しっかりと情報収集をし、契約内容を十分に確認した上で利用するようにしてください。

✦ 費用に関すること

① 認定留学・交換留学・休学中の留学の比較表

	本学（年額）			留学先大学学費	単位認定	学内奨励金
	授業料	教育充実費	在籍料			
交換	自己負担	自己負担	—	免除	可	有
認定（1年）	1/2自己負担	自己負担	—	自己負担	可	有
認定（半年）	3/4自己負担	自己負担	—	自己負担	可	有
休学（1年）	—	—	10万円	自己負担	一部可	無
休学（半年）	—	—	5万円	自己負担	一部可	無

② 学費以外にかかる経費の目安

	交換留学	認定留学
①愛知大学授業料等	全額負担	半額免除（授業料のみ）
②留学先授業料	全額免除	全額負担
③家賃（寮／ホームステイ）／月	<ul style="list-style-type: none"> ◆中国・台湾 20,000～ 50,000円 ◆韓国 33,000～ 45,000円 ◆タイ 13,000～ 18,000円 ◆北米 80,000～130,000円 ◆ヨーロッパ 30,000～ 60,000円 	300,000～400,000円／学期 （※1セメスター認定留学実績）
④留学先生活費／月 （食費・日用品費等）	<ul style="list-style-type: none"> ◆中国・台湾 30,000～ 60,000円 ◆韓国 20,000～ 70,000円 ◆タイ 10,000～ 20,000円 ◆北米 20,000～ 50,000円 ◆ヨーロッパ 20,000～ 40,000円 	
⑤海外旅行保険料	100,000～200,000円／年	
⑥渡航費（往復）	<ul style="list-style-type: none"> ◆アジア圏 80,000～150,000円 ◆欧米圏 150,000～300,000円 	
⑦ビザ取得代	<ul style="list-style-type: none"> ◆中国 8,000円 ◆台湾 180日以内 5,300円／180日以上 6,900円 ◆韓国 免除 ※日本国籍の場合 ◆アメリカ 約500ドル ※システム運営費＋ビザ申請料金 ◆カナダ eTA 7カナダドル ◆リトアニア 60ユーロ ◆フランス 約22,000円 ※ Campus France 手続き料金＋ビザ申請料金 ◆ドイツ 75ユーロ ※申請はドイツへの入国後 ◆タイ 9,000円 <p>※上記は2021年1月現在の金額ですが、最新情報は、ビザの手続きを行う大使館や領事館等のHPにて確認してください</p> <p>※手続きについては旅行代理店等への委託も可能</p> <p>※大使館面接時の際別途交通費が必要な場合有り</p>	
⑧健康診断・予防接種等	<ul style="list-style-type: none"> ◆アジア圏 健康診断の受診が必要な場合有り（20,000～30,000円） ◆欧米圏 受入大学により、予防接種の指定有り 	
⑨その他	教材費、旅行費用、現地交通費、交際費等	

※記載の情報は、過去に留学をした学生のアンケートより集計したものになります。

※これ以外に留学先によって登録料、施設利用料等が必要な場合があります。

海外留学のための奨学金制度

海外へ留学する皆さんの経済的負担を軽減するために下記の奨学金制度があります。

1 愛知大学交換留学奨励金

交換留学生に選抜され、留学先の学費等が全額免除になる者に給付される奨学金で、1学期につき一律20万円、2学期40万円を上限として給付します。

2 愛知大学認定留学奨励金

学位の授与権を有する外国の大学の正規課程に留学を希望する者が手続きをし、教授会において許可された場合に給付される奨学金で、1学期につき一律5万円、2学期10万円を上限として給付します。

3 愛知大学後援会外国留学に関する奨励金

海外短期語学セミナーの修了者に一律2万円、認定留学修了者には一律5万円が給付されます。

※1 2 3 いずれも、給付は在学中一人1回限りとなります。

※1 2 の奨励金については、日本学生支援機構海外留学支援制度との併給はできません。

各留学の奨学金制度

留学の種類	奨学金	支給金額	
交換留学	愛知大学交換留学奨励金	1学期	2学期
		20万円	40万円
認定留学	愛知大学認定留学奨励金	1学期	2学期
		5万円	10万円
	愛知大学後援会認定留学奨励金	一律5万円	
海外短期語学セミナー	愛知大学後援会 海外短期語学セミナー奨励金	一律2万円	

4 学外機関・公費による奨学金

日本学生支援機構（JASSO）や地方自治体、民間団体などの奨学金制度もあります。大学でも随時案内を行いますが、各自でも情報収集を行ってください。

日本学生支援機構奨学金が留学する場合

①交換・認定留学の場合

交換留学生・認定留学生は奨学金の貸与・給付を継続して受けることができます（特に手続きは必要ありません）。ただし、留学経費の出所が国費又はそれに準ずる留学の場合は、日本学生支援機構奨学金との重複受給・貸与を認めていない場合もあるので、よく確認してください。

②休学留学の場合

休学期間は休止になります。留学前に休止するための「異動願(届)」を提出し、帰国後、再開するための「異動願(届)」を提出しなければなりません。印鑑を持参のうえ、必ず学生課（大学院生は大学院事務課）の奨学金担当窓口で手続きしてください。

海外留学のための資料・情報

留学の情報を手に入れる方法として、以下のサイトなどを参考に、各自で情報収集をするようにしてください。資料請求や質問を受付してくれるだけでなく、留学の申し込みがオンラインで可能なところもあります。情報が頻繁に更新されることもありますので、常に最新の情報を入手するようにしましょう。

外務省

外務省のホームページでは、留学に関わる必要な手続きをはじめ、さまざまな情報を得ることができます。

外務省海外安全ホームページ

- 国、地域別の危険スポット情報
- 各国の様々な場面で必要となる注意事項
- 緊急連絡先 など

外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp>

在留届届出・たびレジ登録

- 在留届の提出(オンライン)
海外に3カ月以上滞在する場合には、在留届の提出が義務付けられています。
- たびレジ(外務省海外安全情報配信サービス)の登録
たびレジに登録することにより、出発前から現地の最新の災害や犯罪情報を受け取ることができます。

たびレジ・オンライン在留届

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp>

大使館・領事館

各国にある日本大使館、領事館のホームページでは、現地での生活情報などが得られます。

- 各種書類の申請
- 医療事情
- 安全対策/治安情報など

詳しくは、各国大使館・領事館のホームページにて確認してください。

外務省 在外公館ホームページ(リンク)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/zaigai/>

日本学生支援機構(JASSO) 海外留学支援サイト

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が運営する海外留学を考える人のための情報サイトです。

留学準備・お役立ち情報

出発前に知っておきたい情報を得ることができます。

- 出発前に行うべき手続き(役所への申請)
- 現地生活でのお役立ち情報(お金、保険など)

留学に関する奨学金案内、留学イベントの案内

(独)日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援サイト

<https://ryugaku.jasso.go.jp>

各国の留学情報サイト

各サイトでは現地の学校情報や各種申請(出願やビザ手続き等)についての最新情報を知ることができます。これ以外にも各国の大使館・領事館のホームページなども参考にしてください。

アメリカ | 日米教育委員会(フルブライト・ジャパン)
<https://www.fulbright.jp/>

| Study in the USA(日本語)
<https://www.studyusa.com/ja>

オーストラリア | Study Australia(日本語)
<https://www.studyinaustralia.gov.au.japanese>

イギリス | ブリティッシュ・カウンシル
<https://www.britishcouncil.jp/>

中国 | 日本中国友好協会
<https://www.j-cfa.com/>

国際交流に関する情報サイト(愛知県)

名古屋国際センター/豊橋市国際交流協会

地域の国際交流・国際協力・多文化共生に関するさまざまな講演会、講座、イベントなどを企画・実施しています。

公益財団法人 名古屋国際センター(NIC)

<https://www.nic-nagoya.or.jp>

公益財団法人 豊橋市国際交流協会(TIA)

<http://www.toyohashi-tia.or.jp>

留学に関する奨学金

日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援サイト

日本学生支援機構、地方自治体、外国政府や民間財団等の奨学金の情報をまとめています。

- 海外留学のための奨学金
- 海外留学奨学金検索サイト

(独)日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援サイト

<https://ryugaku.jasso.go.jp>



カナダ
Canada

クイーンズ大学

地域政策学部
地域政策学科

女

1年時

2020年2月～3月

カナダで一か月生活して強く感じたことが三つあります。

一つ目はカナダの人たちは家に帰宅する時間やご飯を食べる時間、就寝時間が早いということです。私は家に17時半に帰宅することが多かったのですが、ホストファミリーはすでに帰宅し、時にはご飯を食べ始めていることもありました。日本では19時ごろにご飯を食べるのが普通であり、カナダに来てとても驚きました。レストランに出かけた時も17時の時点で満席でした。私は飲食店でアルバイトをしていますが、そもそも17時から夜の勤務が始まり、18時半頃に混み始めてくるのがほとんどです。そして21時から22時の間にはホストファミリーの人たちは寝てしまうので自動的に私の就寝時間も日本にいる時より早くなりました。これも仕事から帰ってくる時間が早いことが関係しているのだと思います。この一か月間日本にいる時とは全く違う生活リズムを経験することになりました。

二つ目はカナダの人は仕事からの帰宅が早い、仕事後の時間を自分の趣味に費やす人が多いということです。ホストファミリー

の人も、ヨガ教室に出かけたりや映画を見たりしていました。友人からもホストファミリーの人が夜にパレーをしているということを知りました。日本では残業が多いということが社会問題になっており、仕事後に自分の趣味に費やすという人は少ないと感じます。カナダでは生きるために仕事をしていますが、日本では仕事をするために生きているのではないかと感じました。

三つ目はカナダの人はとてもフレンドリーだということです。お店に入ると必ず「Hi!」または「How are you?」と尋ねられます。さらに物を買う前にも尋ねられます。日本では「いらっしゃいませ」と言うぐらいで相手の調子を探ったりはしません。時には「Where are you from?」と尋ねられ、そこから大学の話など、会話を発展することもありました。カフェでご飯を食べた時も、食べている途中で「How is taste?」と必ず尋ねられます。日本ではないことだったので最初は驚きました。また、ある時歩いていると、外国人である私にも「Hello!」と言ってくれとても嬉しかったです。カナダの人はとてもフレンドリーでやさしいなと感じました。



ホストファミリーと一緒に



学校のアクティビティに参加



ノートルダム大聖堂



カナダでの朝食



City Hall 前のスケートリンク

オーストラリア
Australia

クイーンズランド大学

経済学部
経済学科

男

2年時

2020年2月～3月

クイーンズランド大学の設備はとても素晴らしく、職員にもとても親切に対応していただけました。授業に関しても素晴らしい教師たちによる丁寧な授業を受けることができたため、とてもよかったです。海外の、それも年齢の異なる人たちと交流できたことは、とてもいい経験になりました。特に東ティモールの人たちはとてもフレンドリーで仲良く授業を受けることが出来ました。国によっても英語の話し方に特徴があることがよくわかりました。また大学で開催されている様々なアクティビティはどれも興味深く、充実した学校生活を送ることができました。特に毎週金曜日に開催されているスポーツのアクティビティでは、色々な国の人とサッカーを楽しむことができました。

休日には様々な観光地に行くことができました。ゴールドコーストやマウントクーサ、ローンバインコアラサンクチュアリといった有名な観光地に加え、ブリスベンの市街を満喫することが出来ました。ブリスベンの市街は治安もよく、とても洗練されている印象を

受けました。街のあらゆるところにゴミ箱が置いてあるため、街に捨てられているゴミも少なかったことは日本でも見習うべきだと思いました。ゴミ箱の設置は衛生面の向上だけでなく、雇用の創出という面でもいい影響があると思いました。また公共交通手段が発達しているとともに、Uber タクシーや電動スクーターも発達していることで、移手段が数多く揃えられていることも見習うべきだと思いました。

ゴールドコーストは今まで見たことないほどきれいなビーチで驚きました。ローンバインコアラサンクチュアリでは、夢であったコアラを抱くことができとても嬉しかったです。最終日にマウントクーサをみんなで登ろうとして、隣の山を間違えて登ったのは今となってはいい思い出です。特にケアンズでスキューバダイビングをやったことは、このセミナーで一番の思い出です。世界遺産にも登録されているグレートバリアリーフはあまりに壮大で言葉にならなかったです。カメラと一緒に撮った写真はとてもいいお土産になりました。



ケアンズでスキューバダイビング



学校でキャッチボール



船上から見るブリスベン



ホームステイ先の街並み



マウントクーサ山頂の喫茶店



イギリス
United Kingdom

エクセター大学

国際コミュニケーション学部 英語学科 | 女 | 2年時 | 2019年8月

このセミナーに参加して最も印象に残っているのはサウジアラビアの学生との出会いです。初日にたくさんのサウジアラビア人が教室に入ってきたときはその迫力に圧倒されましたが、すぐにみんなと仲良くなることができ、一緒に過ごした二週間は楽しくて、あっという間でした。サウジアラビアの学生は積極的に発言をするし、私たちにも興味を持ってくれて、たくさん質問をしてくれたり、話しかけてくれました。そんな積極的でいつでも明るい彼らを見ると、私たちも笑顔になれたし、自分に足りないのはこういった積極性であると感じました。サウジアラビア人と関わる機会なんてきっともうないと思うので、貴重ないい経験ができたと思います。また、そのほかの中国やタイの学生とも仲良くなり、交流ができました。タイ人のクラスメイトとは、タイに行く約束をしたし、中国人の学生は絶対に日本に来てくれると言ってくれました。次に会うまでに私は中国語を、その中国人の学生は日本語をもっと勉強し

達させると約束しました。エクセター大学でたくさんの素敵な友達と出会えて本当に幸せでした。

最後に私はこのイギリスセミナーに参加して本当によかったと感じました。イギリスの文化を学びながら学習出来て楽しかったです。そして、このセミナーに参加して、自分の英語力不足を痛感したので、今後はもっと頑張らなくてはいけないと思っています。また、このセミナーを通して様々な国の人々と交流をして、外国語を学ぶ意義を感じたし、何より外国語学習のモチベーションになりました。外国の人と交流を深めるには、その国の言語を習得するか、英語を上達させるかの二択しかないので、英語をこれまで以上に学習しつつ、その他の言語も勉強してみたいという気持ちが強くなりました。このセミナーに参加し、エクセターが大好きになりました。本当にずっと住んでいたいと思うほど素敵な街で、また絶対に行きたいです。



クラスメイトと一緒に



エクセター大聖堂



イギリスの伝統的な朝食を体験



カーディフ城



ブリストルの街にて

フランス
France

オルレアン大学

法学部 法学科 | 女 | 2年時 | 2020年2月~3月

私がこの留学で一番学んだことは、自分から行動することや自分の意思をはっきりと伝えることの大切さです。生活のほぼ全てがフランス語という中で、留学当初、私はホームステイ先のファミリーの言っていることが少ししか分からないことや、自分が伝えたいことがうまく伝わらない、話すことができない、といった言葉の壁やそこからくる沈黙の時間についての悩みを抱えていました。マダムの話に対しても Oui、や D'accord、といった簡単な返事ばかりでした。なんとかこの状況を切り抜けるべく、私は一人になった時間に単語帳で勉強したり、話す内容を事前に準備して会話に臨んだり、テレビで報道されているニュースのことや疑問に思ったことについて質問を投げかけるなど自分から積極的に会話を試みました。また、ホームステイ先で折り紙や書道を提案して一緒に行ったり、日本料理を振る舞うなど自ら提案し、行動することで会話も少しではありますが増やすことができ、心にあった悩みや負担を軽減させることができました。

れましたが、私の意見も尊重してくれたため、自分がやりたいこと知りたいことなど意向を伝えることも求められました。そこで私は自分の意思をはっきりと伝え、それにより、シャンポール城や映画館などオルレアンの歴史や現地の人の生活をより味わうことができました。もし、そこで何も主張していなかったとしたら、きっと体験を多くできなかったと思います。自分から動くことによって挫折を乗り越え、それによって得られた達成感や自信が今回の留学の最大の収穫です。

今回のフランスセミナーでは、フランス語の授業やホームステイ体験だけでなく、モン・サン・ミシェルやサン・マロ散策を通してフランスの歴史・文化を学ぶ機会や、愛大フェアや現地の高校訪問での発表、日本語授業のお手伝いなど、現地の学生と交流できる機会が多く設けられていました。そんなセミナーで私は、一緒にフランス語漬けの生活を送った素敵な仲間と出会い、現地のフランス人と交流をして、人の優しさに触れ、また、悩みを抱えることもありましたが、それを乗り越えた自信を日本に持ち帰ることができました。



ホストファミリーと一緒に



旧市庁舎



オルレアンの街



愛大フェア (オルレアン大学にて)



アメリカ America

サウスイーストミズーリ州立大学

経済学部
経済学科

男

2年時

2019年8月～2019年12月

初めの頃は英語が本当に分からず、授業では何が宿題なのかも聞き取れない様な状況でした。しかし英語で行われる授業を毎日受けるうちに次第に慣れ始め、話の何割かは理解できるようになりました。ある程度慣れた後は外国人と話せる場に積極的に身を置いたり、授業に参加するよう努めました。その頃には英語を使って自分の言いたい事が言える様になっている事、相手の言っている事が理解できるようになっている事が実感できる程顕著に成長していたと思います。英語をある程度聞き取れるようになるまでは自分で努力した部分が大きかったと思いますが、ある程度聞き取れる様になったことで授業で吸収する事も増えました。

自分は初めの頃、英語で英語を勉強するのは無謀で効率が悪いと思っていましたが、この方法は自分の肌に合っていると感じました。無理に日本語に落とし込んで考えるのではなく、ネイティブスピーカーの感覚をそのまま伝授してもらうという方法は理にかなっており理解が早まりました。

自分が参加した IEP プログラムは、インプット型の授業が少なく、ほとんどがアウトプット型の授業でした。日本の授業の場合、知識を詰め込む事がメインになっており、知っているだけでそれを使えない状態になります。しかし IEP ではプレゼンなど自分の意

見を発表する場面が多いため、知識量は非常に多い日本人にとってみればとても良い訓練になりました。

初めの頃は慣れない生活だったため、何をしたら良いのかわからない日々をおくっていました。しかし次第に生活に慣れていく中で友達も増え、毎日のルーティンも決まってきました。自分の場合、授業が終わったら寮のラウンジに身を置き、フロアメイトと積極的に交流するようにしていました。自分は本当に良いフロアメイトに恵まれ、毎日の様に喋りかけてくれたり、自分の拙い英語でも一切嫌な顔をする事なく耳を傾けてくれる友人に助けられました。夕食をとった後は寝る準備を済ませ、寮内にある学習室で英語以外の勉強をしていました。英語の宿題や復習などでもこの学習室を利用していました。その後部屋に戻り眠りに落ちるまで NETFLIX で英語のリスニングの練習をしていました。大学は田舎に位置しているため勉強をするためにはとても良い環境でした。休日にはシャトルバスに乗って買い物に出かけたり、誘いがあれば現地の友達と遊びに行ったりもしました。

自分は英語の予備知識があまり無いまま留学したためスタートが出遅れましたが、その分お風呂の時間や隙間時間に喋る、聞く練習をするなど、時間を有効に使い英語の力を伸ばすことが出来ました。



アイスクリームパーティーで校長先生と



お茶パーティー



寮の部屋



学内での食事



寮内のメインカフェ

カナダ Canada

クイーンズ大学

国際コミュニケーション学部
国際教養学科

女

3年時

2019年5月～2019年8月

毎日多量の宿題があり、週に1回テストやディベート、プレゼンテーションがありました。留学期間中は、とても辛く、うまくいなくて落ち込むことも多かったです。しかし、留学を終えた今、とても成長していると感じています。最初の1ヶ月は特に自分の成長は自分では分からず、焦りもありましたが、毎日継続することで、卒業する頃には10分間ノーペーパーでプレゼンできるだけの力がつきました。また、留学前は英語を話す際、文法を必要以上に気にしていた、話したいことや、伝えたいことがあってもしゃべれないことがよくありました。しかし、今では、考えるよりも前に話しかけることができるようになり、質問があればきちんと解決できるようになったため、英語力だけでなく、コミュニケーション能力も伸びたと感じています。また、私のクラスは英語の基礎を学ぶと言うよりは、英語で様々なことを考え学ぶというところを重視していたため、知識量が大幅に増えました。critical thinking ができる人になることが目標だったため、すべての内容について、教科書に書かれていること以上のことが求められ、時には、権威ある人が唱えていることに対し

て critical thinking をすることもありました。これにより授業内だけでなく、社会への見方が少し変わったという点で自分を成長させる経験となりました。そして何よりも、final で提出した essay がこの留学の学習の中で大きな割合を占めています。6月下旬から8月上旬にかけて、自分のトピックを決め、リサーチをし、essay を書き上げました。その過程において、文法の間違いや word choice など多くの指摘を受けました。リサーチも教科書を進めつつやる必要があり、また権威のあるソースを探す必要があったため、すべての工程がとても大変でした。加えて、急に2-3分のプレゼンをすると言われることもあったため、確実に日本にいたときよりも自信を持ってプレゼンをすることができるようになりました。総じて、学習面だけでなく、英語で何かを学ぶという過程で、精神的にも成長したように思います。アドバイスとしては、3ヶ月の留学期間は短いようでとても濃い時間が過ごせます。期間中は辛いこともありますが、確実に成長することができるため、めげずに留学期生活を頑張ってくださいと思います。



大学にて



モントリオール



カナダデーのダウンタウン



キングストンのダウンタウン



クラスメイトとピクニック



アメリカ *America*

トリード大学

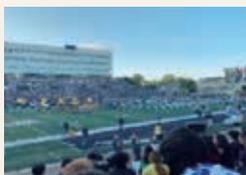
経営学部 経営学科	女	3年時	2019年8月～2020年3月
--------------	---	-----	-----------------

大学への交換留学という、まず最初に「英語での授業についていけるか」と疑問に思う方が多いですが、私の経験から言うと「全く問題ない」です。それは個人の英語力に関わらず、交換留学の必須条件であるトフル500点以上の英語力があれば、あとは慣れと環境と時間が助けてくれるからです。私の交換留学応募時のトフルは丁度500点でした。どちらかというリスニングは得意であると自負していましたが、留学一学期目の初めの方は、全神経を集中させて授業中に先生の話を聞いていても、理解度は50%ほどでした。しかし、時間がたつにつれて自然と現地英語の速さや言い回し、単語に慣れてきます。トフル500点さえあれば最低限の基礎はあると思うので、慣れない初めはとても大変ですが、時間が解決してくれます。特に私は経営学部の授業を多く履修していたので、英語力に関して劣等感を抱いている場合ではなく、とにかく授業の内容を理解し課題をこなし、試験でいい点を取ることに集中していたため、専門用語なども意識せずに、地道に日々の学習をこなす

ちに理解できるようになりました。二学期目では、一学期目よりもさらに踏み込んだ内容の専門科目を多く履修していましたが、授業中の先生の話はあまり集中せずとも、自然に文法・語句を含めほぼ100%分かるようになりました。リスニングに慣れてくるところには、リーディング・スピーキング・ライティングも自然とできるようになります。初めの3、4ヶ月が精神的にも肉体的にも大変ですが、それを超えると急にできるようになります。日本と比較して、アメリカでは全体的にどの教科も課題や予習復習の量がとても多いです。2日で50ページのリーディング課題が平均です。大変なように聞こえますが、英語に慣れてくれば全然問題ないと思います。日本では開講されていない教科や内容が豊富であったため、私は自分の英語力は全く気にせず興味のある教科を躊躇なく履修しました。内容が面白いと自然と英語も身に付くので、履修の際にはむしろ全く自分の英語力を気にしなくていいと思います。興味のある教科を、楽しみながら学んでみてください。自然と英語力が伴ってきます。



大学の中心部



大学のグラウンドでアメフトの試合



朝食



大学の友達の誕生日パーティー



旅行で行ったマイアミ

ドイツ *Germany*

ブレーメン経済工科大学

文学部 人文社会学科	女	3年時	2019年2月～2019年8月
---------------	---	-----	-----------------

生活面については、最初はやはり生活の中の常識の違いに戸惑いました。当たり前が遅延する電車やレジ袋がもらえなかったり、店員の態度一つに驚いていました。日曜にはすべてのお店が閉まり、何も買えずに戸惑ったこともありました。また気候も全く違い、着いた当初は寒くて動けなかったこともありました。しかし慣れてくると、電車の遅延はヨーロッパの中では少ないほうで、レジ袋は環境大国ドイツならではの感じ、日曜はドイツでは休日であると感じることができました。こうした別の視点で物事を見ることができたのは今まで住んだことない環境だからこそできたことでありました。また、私が充実した留学生活を送れたのはブレーメン経済工科大学の皆さんがサポートしてくださったからにほかにありません。とても丁寧にドイツでの生活から治安についてまで教えてくださいました。この半年間で意識していたのは、疑問点はすぐに解消させるということでした。ブレーメン経済工科大学では現地の学生と留学生の距離が近く、コミュニケーションがとても多いと感じました。特に授業外の時間に一緒にご飯を食べたりと交流の機会も多くネイティブの会話を間近で聞くことができました。その中で聞いたことのない表現や単語を逐一聞いていくことができたのはブレーメン経済工科大学だっ

たから、そしてそれを支えてくれる仲間がいたからでした。しかしドイツの学生との交流は多くても、他の国の留学生との交流が少なかったように感じます。特にドイツ語をあまり話さない学生とはだんだんとコミュニケーションの機会がなくなっていったのが反省すべき点でした。それに伴い英語を話す機会がなくなってしまいました。また、人との出会いも大切になってきました。友人もそうですが、インドで働いている日本人の方々と出会いお話を聞くことができました。自分の中で日本の企業の海外支社で働くことは憧れでしたがわからない点も多くイメージができませんでした。しかし実際に働いている方々と会ってお話することができ、良さや現実を知ることができ改めてまたドイツだけが海外ではない、世界には独自の文化があり独自の常識があると再確認できました。海外で自身のスキルを試してみたい、もっといろんな国の文化に触れてみたいと感じました。

この半年間で言語的能力の向上も実感できただけでなく人として大きく変わった半年でした。帰ってきてから友人と話して自身では気づきませんでした自己主張が強くなっていると聞かれました。この変化は働く時にもプラスになると確信しています。留学できて自分の中で大きく変わることができました。



市庁舎



友達とトランポリンのテーマパークへ



ブレーメンの街



大学の校舎で



移動式遊園地(イースター)

リトアニア
Lithuania

ミーコラス・ロメリス大学

国際コミュニケーション学部
英語学科

男

2年時

2019年8月～2020年3月

留学初めは自分の英語力が足りなく大変でした。まず語彙が足りないのと、リスニングが十分ではありませんでした。各国の英語の癖やアクセントがあり、慣れるのが大変だと思います。先生でさえ、アクセントのある英語を話すので苦労しました。分からない点は友達と協力して助け合いながらやっていくのが一番です。また、英語以外の言語を知っているといいと思います。なぜならヨーロッパ各国から学生が来ており、自分の場合、フランス語を習っていたため、会話のきっかけや、勉強を手伝ってもらったこともあり。もちろん英語ほど聞き取れたり会話するほどの能力はなかったのですが、もう少ししっかり学んでおけばと思うこともあり。今ではフランス語を学ぼうというモチベーションが高く、日常的な場面くらいで使えるようになりたいと思っています。また、プレゼンテーションをする授業が何個かありましたが、英語を話すことに慣れていないため苦労しました。ヨーロッパの人たちは日本人よりも英語に親しんでいると思うので流暢に話します。そこでも劣等感など感じることもありましたが、表現をまねて使ったりすることで新しく学ぶこともあり。なので友達の英語をまねすることも上達への一歩だと思います。気象等について言うと、緯度も高いところなので

で天候や気温などには注意していました。寒い時には-20℃になることもあるそうなので、ヒートテックは必需品です。物価が安かったことは学生にとって、とても嬉しいことでした。自炊道具などは持ってくる人が多いようです。もちろん IKEA やショッピングモールで買えるので必ずしも持って行く必要はないです。また、旅行が好きでよくしました。ヨーロッパどこへ行くのも基本安く、冬のローシーズンで RYAN AIR などの格安航空を使うと安く行けるのでおススメです。買い物は近くの IKI というスーパーです。この留学は本当に価値のあるものになったと思います。英語など学習面の上達や意欲の向上ももちろんのこと旅行による経験やいろんな国の人と交流した経験などどれもかけがえのないものです。このような経験を生かして国際的な考えや視野をさらにもてるようになっていきたいです。すべてがうまくいったわけではなく、そのいろいろな反省点を磨いてさらに成長していこうと思います。今できてすぐに始められることはさらに英語やフランス語を磨くことだと思います。就職にも TOEIC のスコアがあるといいと思いますし、今後オリンピックや国際的なイベントがあると思うので、そういう時に力になれる人材になれるように努力したいです。



寮でのパーティー



トラカイ城



ヴィリニュス



シャウレイ・十字架の丘



杉原千敏で有名なカナウスで

中国
China

上海外国語大学

現代中国学部
現代中国学科

女

4年時

2018年9月～2019年7月

留学の成果として、1番の目標であった HSK 6 級に合格したことのほかには、上海外国語大学は他の大学に比べて留学生が多いため、様々な国の留学生と友達になることで異文化理解を深めることができ、視野が広まりました。前学期のルームメイトと英語と中国語を交互に使い生活する事で苦手であった英語での日常会話のレベルが上がったことは意外な成果でした。

反省点は、高級1、高級2クラスをそれぞれ半年ずつ経験しましたが、ネイティブのクラスメイトと一緒に授業を受け、まだまだ流暢に中国語を使うことができず、中国の文化を深く理解していないと、実感しました。確かに一年で成長した部分はありますが、自分の中国語のスキルを磨き上げ、中国文化への理解を深めていかなければいけないと思いました。帰国後、1年の留学でネイティブに近づきたいのであれば留学中のすべての時間を中国語で過ごすなければいけないなとも思いました。

また、勉強との両立も考えなければいけないため難しいですが、もっと留学先でしかできない経験しておくべきでした。平日は忙しく、週末は疲れて友達と近場で過ごすことが多かったのですが、週末を使って遠出をして色々なものを見ておけばよかったなどの

留学生を見て思いました。自分の中での変化は、周りの子が色々なことにチャレンジしていく環境だったので自分もそれに感化され“やらないよりやって後悔”の精神で色々なこと（たとえば2月に行った日本企業と中国企業間の通訳や合唱祭など）にチャレンジしていき、大変ではありましたが結果として得るものが多く、良い経験となりました。またその精神のもと、留学先大学でのサークル活動を通じて舞台上や人前に立つ機会がたくさんあり、機会を重ねる毎に自信が付き、性格がより前向きになったと思います。もう一つ自分では気づいていなかったのですが、家族から、留学前より自主的に家事をするようになった、と言われ、これも留学での自分の変化だなと思いました。今後の目標は、留学で得た中国語レベルを落とさぬよう、細かい文法やニュアンスの違いもわかるように勉強を続けていきたいです。また、これまでの1年半の留学の成果として国際ビジネスセンターのプログラムに参加し、自分がどれほど成長したのかを実践し、残り大学生生活1年半を過ごしていきたいです。また、留学に行こうと思っている後輩たちに先輩として少しでも役立つアドバイスができればいいなと思っています。



上海外国語大学音楽サークルのみなさんと



復旦大学（上海市大学別合唱祭）



上海南京路



東方明珠電視塔



中国
China

南通大学

現代中国学部
現代中国学科

男

3年時

2019年2月～2020年1月

留学期間中のほとんどの時間を南通市内で生活していましたが、基本的に市内で生活の全ては事足りると思います。学校の中にも食堂が2つ、その食堂の中にもハンバーガーのメニューがあったりして食堂の味も悪くありませんでした。他にも大学内にスーパーやラーメン、韓国料理、伝統的な中華料理を味わうことのできるお店が多数あり、食の心配をすることは基本的にありませんでした。私はよく学内のフルーツショップを利用していました。カットしたフルーツもあれば、ジュースなども売っていました。希望すればその場で無料でカットもしてくれます。基本的に味も新鮮さも問題はないと思いますが、夏場は少し注意が必要です。夏にカットしたスイカを食べたらお腹を壊してしまいました。中国人の友達に尋ねたところ、「カットしたものはいつカットしたか分からないから、夏場は極力店頭でカットしてもらった方がいい。」と教えてくれました。なので基本的には問題はありませんが、もし南通大学に留学するのであればこの点は注意してほしいと思います。

また寮内の生活ですが、私はなんの不満もありませんでした。洗濯機は全部で6台設置されていますが、全て無料です。また何か問題が起きてても下の階の阿姨に伝えればすぐに対処してもらえます。他大学に比べても寮費はかなり安いと思います。ただベットが少し固かったり、部屋の掃除は自分で行わなければいけません、大した問題ではないと思います。また寮内では男子、女子の階の区別がされていないので、様々な国の人々と交流ができます。私にもインドネシア人、ロシア人、タジキスタン人、カザフスタン人、韓国人、モロッコ人、などの友達があり、よく部屋で一緒に映画を見たり、トランプをして遊んでいました。学外にも大きなデパートなどがあり、無印良品やユニクロなど日本の店も入っており、基本的に何一つ不自由はないですが、ただ一つ難点をあげるなら、まだ地下鉄が完成していないことです。近々地下鉄と新幹線も開業するらしいですが、わたしの移動手段はタクシーかバスでした。



大学内にある池



大学内のトラック競技場



南通動物園にて



大学敷地内の様子

台湾
Taiwan

国立台湾師範大学

現代中国学部
現代中国学科

女

2年時

2019年8月～2020年8月

留学期間中、語学力の向上はもちろんのこと、いろいろな点で成長できたと感じます。この1年間、生活で困ったことがあれば自分に頼りたくないという状況であり、ビザの申請や病院の予約、住居の確保など多くのことを自力でこなしたことで、日本語の通じない海外でも自分自身の力でどうにかできたという自信につながりました。

自分の中で特に変化があったところは、物事を多面的に見られるようになったことです。語学の授業など多国籍の学生が集まっている授業で、意見交換をする際、自分の中や日本の中では当たり前だと思っていたことが、他国では当たり前でなく、全然違う意見を持っている場合があるということを知り、とても刺激的で面白いと感じました。いろいろな意見や考え方をすることで自分の視野や世界が広がったように感じました。また、意見を発表する際、多くの日本人学生は恥ずかしがって意見を言わないことが多くありますが、欧米人を先頭に皆自分から次々と負けずに自分の意見を言うという積極的な行動を目の当たりにすることで、自分もせっかく留学に

来たのだから負けてはいられない、間違ってもいいからチャレンジしようと思うようになりました。学期末の際に、あるクラスメイトに学期が始まったばかりの頃は質問されても曖昧に答える典型的な日本人のようだったけど、今ははっきりと意見を言うようになったねと言われました。もちろん語学の運用能力が上がって使える単語が増えたことも原因として挙げられますが、自分でも以前よりも積極的になれたと感じています。

今後の目標としては、まず HSK 6 級の取得を目指しています。また今後中国語を使う頻度が減ってしまうと思いますが、今まで培ってきた中国語の運用能力を落とさないように、中国語の番組を見るなどして保っていきたいです。将来、中国語を使用できる仕事に就きたいと考えています。いつかまた台湾に長期滞在をしたいと考えているため、現在はどのように滞在をするか模索中です。

この1年とても貴重な体験ができました。ご協力いただいた国際交流課の皆さんに感謝でいっぱいです。



学校で最後の授業



語学パートナーとその友達と



春節前の迪化街(問屋街)



通学路



台湾の友達と海へ

この一年間の留学を通して私が学びたかったこと、目標が二つありました。ひとつは韓国語を上達させることや韓国文化への理解でした。もうひとつは経営学を英語で学ぶことでした。韓国語を上達させるために合計で4つの韓国語の授業を取りましたが、秋学期に受けた Advanced Korean Language の授業は特に私の韓国語能力の上達に役に立ったと感じました。毎週さまざまな課題が出され、動画を作ったり、プレゼンテーションをするなどスピーキングの練習からTOPIKで出される問題の演習、ライティングにリーディングまで外国語を勉強するに当たり求められるほぼすべての練習ができたと思います。

経営学の授業はとても大変でした。英語で授業を受けたので今まで使ってこなかった専門用語もたくさん使い授業についていくのに必死でした。わからない単語がたくさん出てきて理解ができないから予習もたくさんしました。また、Business Communication では、授業内でたくさん会話をしなければならなかったので相手が伝えたいことを理解することや自分が伝えたいことをしっかりと伝えるための能力が成長したと思います。現地での生活については、春

学期は、韓国人の友達がたくさんできた学期だったと思います。それに対して秋学期ではより多国籍の友達がたくさんでき、韓国留学でのひとつの目標でもあった異文化交流ができたと感じました。フランス人やドイツ人などのヨーロッパから来た人やカザフスタン、インドネシア、カンボジアなどのアジアから来た人、アフリカのウガンダから来た人まで本当にグローバルに異文化交流ができてとても楽しかったです。仲良くなった友達とみんなでいろいろなところに観光に行った時にはその国の伝統料理を食べに行ったりほぼ毎日彼らと過ごしてとてもいい経験ができたと思います。たくさんの外国人とともに生活をして感じたことは、自分のやりたいこと、自分が好きなことがしっかりわかっていて将来自分がやりたいことのために今、すべきことをやっている人が多いと感じました。自分が今何がしたいかもはっきりわからずにいたので、自分も見習わないといけないと感じました。韓国での生活は、刺激がたくさんありとても楽しかったし、自分を見つめ直すいい機会になりました。



サムギョブサルレストラン



スウォン



大学内で



それぞれの国の伝統料理紹介



修了式

愛知大学海外留学先一覧



海外協定校紹介

アメリカ

トリード大学

UNIVERSITY OF TOLEDO

豊橋市の姉妹都市であるトリード市にある大学。1872年に設立。現在は約19,000名の学生が在籍し、8学部、250の教育課程を持つ総合大学。学生相互派遣、学生訪問団の受入を実施。

協定締結日：2007年1月17日

実施プログラム

- 海外短期語学セミナー
- 交換留学

<https://www.utoledo.edu/>



サウスイーストミズーリ州立大学

SOUTHEAST MISSOURI STATE UNIVERSITY

経営、教育、科学技術、リベラルアーツ等の学部を有する総合大学。学生相互派遣、1セメスター認定留学が実施されている。

協定締結日：1991年12月2日

実施プログラム

- 交換留学
- 1セメスター認定留学

<https://semo.edu/>



ハワイ大学マノア校

UNIVERSITY OF HAWAII AT MANOA

1907年に創立。世界約80カ国、アメリカ全50州より約18,000名の学生が集い学んでいる、ハワイで最大かつ最も知名度の高い大学。

協定締結日：2011年2月16日

※愛知大学生スカラシップ制度あり

実施プログラム

- ハワイ大学ロースクールスタディツアー（法学部）

<https://manoa.hawaii.edu/>



ハワイ大学コミュニティカレッジ

UNIVERSITY OF HAWAII COMMUNITY COLLEGES

ハワイ大学機構に属する7つのコミュニティカレッジ（ハワイ、ホノルル、カピオラニ、カウアイ、リーワード、マウイ、ウィンドワード）で、学生相互派遣、短期語学セミナー、短大の短期研修を実施。

協定締結日：2010年6月29日

実施プログラム

- 海外短期語学セミナー
- 交換留学
- ハワイ大学短期研修（短大）

<http://hawaii.hawaii.edu/>



中国

南開大学 NANKAI UNIVERSITY

華北地域の経済・貿易中心地である天津市に位置する。26学部93専攻を有する重点総合大学。周恩来元首相の母校として有名。1973年の本学代表団訪問以来、教育・研究両面で様々な交流を重ねており、キャンパス内に交流拠点として「南開愛大会館」が設置されている。

協定締結日：1980年10月17日

実施プログラム

- 交換留学
- 現地プログラム（現代中国学部）
- ダブルディグリー・プログラム（現代中国学部）
- デュアルディグリー・プログラム（中国研究科）

<https://www.nankai.edu.cn/>



北京外国語大学

BEIJING FOREIGN STUDIES UNIVERSITY

中国で創立された初の外国語高等教育機関。その前身は1941年まで遡る。中国で最も早く留学生教育を展開し、101種類の外国語教育課程が開設されているのも特徴。学部課程は121専攻を有し、そのうち44専攻は全国唯一。多くの外交官を輩出している大学でもある。

協定締結日：2020年10月26日

実施プログラム

- 中国現地研究調査（現代中国学部）

<http://www.bfsu.edu.cn/>



北京語言大学

BEIJING LANGUAGE AND CULTURE UNIVERSITY

1962年に創立。1964年に北京語言学院となり、名称変更を経て2002年に現在の名称となった。中国で唯一、留学生への中国語や中国文化教育を主な目的として設立された国際型大学。世界各国から留学生を受入れており、「小さな国連」とも呼ばれている。

協定締結日：1980年10月13日

実施プログラム

- 交換留学

<http://www.blcu.edu.cn/>



北京第二外国語学院

BEIJING INTERNATIONAL STUDIES UNIVERSITY

北京市東部に位置し、ビジネス中心エリアや副都心（通州区）に隣接している。

外国語と観光分野の学部に特色があり、外国語分野では日本語、英語をはじめ26言語の専攻を有する。

協定締結日：1984年11月23日

実施プログラム

- 交換留学

<http://www.bisu.edu.cn/>



上海外国語大学

SHANGHAI INTERNATIONAL STUDIES UNIVERSITY

1949年に新中国で最初に設立された外国語高等教育機関。
1956年に上海外国語学院と改称し、1994年に現在の名称となった。
外国語のほか、国際貿易や国際関係などの学部も有する重点大学。

協定締結日：1984年11月26日

実施プログラム

- 交換留学

<http://www.shisu.edu.cn/>



復旦大学

FUDAN UNIVERSITY

中国の金融・経済中心地である上海市に位置する。
1905年創立の復旦公学を前身とし、1917年に「復旦大学」と改称した。「北に北京大学、南に復旦大学あり」と言われる中国屈指の名門校であり、35学部79専攻を有する重点総合大学。

協定締結日：1985年11月22日

<https://www.fudan.edu.cn/>



上海交通大学

SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY

1896年創立の南洋公学を前身とする中国で最も古い大学のひとつ。
現在は在校生数約42,000名、31学部67専攻を有する重点総合大学。
本学とは東亜同文書院大学記念センターとの研究交流が行われている。

協定締結日：1994年10月28日

<https://www.sjtu.edu.cn/>



中国社会科学院研究生院

GRADUATE SCHOOL OF CHINESE ACADEMY OF SOCIAL SCIENCES

1978年創立。中国で最も早く開設された大学院大学。
哲学、経済学、法学、文学、歴史学、国際問題の6つの教学研究部があり、人文社会科学分野の研究者育成が行われている。

協定締結日：1997年4月29日

<https://www.gscass.cn/>



西北大学

NORTHWEST UNIVERSITY

かつて長安と呼ばれた古都・陝西省西安市に位置する。
1902年設立の陝西大学堂と京師大学堂速成科仕学館を前身とし、1912年に設立。

現在は約25,000名の学生が在籍し、
24学部88専攻を有する重点総合大学。

協定締結日：2001年2月23日

<https://www.nwu.edu.cn/>



雲南大学

YUNNAN UNIVERSITY

西南地域の主要都市・雲南省昆明市に位置する。
西部辺境地区で最も早く設立された総合大学のひとつ。
現在は26学部79専攻を有する重点総合大学であり、とくに民族学、環境保護、辺境問題、東南アジア・南アジア国際問題などの研究分野に特色がある。

協定締結日：2002年8月26日

<http://www.ynu.edu.cn/>



南通大学

NANTONG UNIVERSITY

豊橋市の姉妹都市である江蘇省南通市に位置する。1912年に創立した南通医学専門学校と南通紡績専門学校を前身とし、2004年に南通医学院、南通工学院、南通師範学院の合併により南通大学となった。20学部102専攻を有する総合大学。

協定締結日：2005年7月31日

実施プログラム

- 交換留学

<https://www.ntu.edu.cn/>



中国人民大学

RENMIN UNIVERSITY OF CHINA

北京市北西部の文教地区に位置する。人文社会科学を主体とし、33学部82専攻を有する重点総合大学。とくに法学、理論経済学、新聞メディア、公共管理などの分野は中国国内でトップクラスの評価を得ている。

協定締結日：2004年1月12日

実施プログラム

- デュアルディグリー・プログラム
(中国研究科)

<https://www.ruc.edu.cn/>



中国

中央民族大学

MINZU UNIVERSITY OF CHINA

北京市北西部の文教地区に位置する。
1941年設立の延安民族学院を前身とし、名称変更を経て、1993年に現在の名称となった。23学部66専攻を有する重点大学。
中国の民族問題解決、少数民族の幹部や高度専門人材育成を設立目的としており、学部生の約半数は少数民族が占めている。
協定締結日：2010年5月19日



<https://www.muc.edu.cn/>

中国労働関係学院

CHINA INSTITUTE OF INDUSTRIAL RELATIONS

北京市北西部の文教地区に位置する。
中華全国総工会に所属する大学。労働組合幹部の育成を使命としており、中国各レベルの労働組合組織に多くの優秀な人材を輩出している。
労働関係、労働法、社会保障法等の分野に特色がある。
協定締結日：2010年11月22日



<https://www.culr.edu.cn/>

内蒙古大学

INNER MONGOLIA UNIVERSITY

内モンゴル自治区の首府フフホト市に位置する。新中国成立後、少数民族地区で最も早く設立された総合大学。現在は約27,000名の学生が在籍し、23学部94専攻を有する重点総合大学。
本学とは三遠南信地域連携研究センターとの研究交流が行われている。
協定締結日：2011年8月8日



<https://www.imu.edu.cn/>

東北財経大学

DONGBEI UNIVERSITY OF FINANCE AND ECONOMICS

東北地域を代表する港湾都市・遼寧省大連市に位置する。
1952年に東北財経学院として設立され1985年に現在の名称となった。41専攻を有し、経済学や管理学の分野に特色があり、とくに財政学、産業経済学、会計学の領域は全国でも高い評価を得ている。
協定締結日：2011年8月10日



<http://www.dufe.edu.cn/>

南京大学

NANJING UNIVERSITY

名古屋市姉妹都市である江蘇省南京市に位置する。
1902年創立の三江師範学堂が前身。
その後、国立東南大学、国立第四中山大学、国立中央大学へ名称変更し、1950年に現在の名称となった。
31学部88専攻を有する重点総合大学。
協定締結日：2011年12月28日



<https://www.nju.edu.cn/>

東北師範大学

NORTHEAST NORMAL UNIVERSITY

東北地域の主要都市・吉林省長春市に位置する。
1946年に東北大学として創立し、1950年に現在の名称となった。現在は約27,000名の学生が在籍し、22学部81学科を有する重点総合大学。
協定締結日：2011年12月31日



実施プログラム

- 交換留学

<http://www.nenu.edu.cn/>

廈門大学

XIAMEN UNIVERSITY

東南沿海部の福建省・廈門市に位置する。1921年、著名な華僑実業家・陳嘉庚により設立。30学部を有する重点総合大学。
人文社会科学分野での研究に強く、とくに南洋研究、台湾研究、高等教育、経済学、会計学等の領域では国内屈指の実力を有している。
協定締結日：2014年7月25日



実施プログラム

- 交換留学

<https://www.xmu.edu.cn/>

東南大学 SOUTHEAST UNIVERSITY

名古屋市姉妹都市である江蘇省・南京市に位置する。
1902年に創立した三江師範学堂を源としている。1921年に国立東南大学となり、その後、国立中央大学、南京工学院へ名称変更し、1988年に現在の名称となる。理工学系学部中心の学部構成から文系学部の教育・研究も重視する華東地域有数の重点総合大学に発展。
協定締結日：2015年7月21日



実施プログラム

- 交換留学

<https://www.seu.edu.cn/>

台湾

国立台湾師範大学

NATIONAL TAIWAN NORMAL UNIVERSITY

台湾台北市に位置する。教育学部、文学部、理学部、管理学部等9学部を有する総合大学。同校の「国語教育センター」は台湾における中国語教育のメッカと言われる。

協定締結日：1999年7月9日

実施プログラム

- 交換留学
- 現地プログラム(現代中国学部)

<https://www.ntnu.edu.tw/>



東呉大学 SOOCHOW UNIVERSITY

台湾台北市に位置する。1900年、中国・江蘇省蘇州市で設立され、1954年に台湾で再興された台湾で最初の私立大学。

人文社会学部、外国語学部、理学部、法学部等6学部を有する総合大学。協定締結日：2003年10月17日

実施プログラム

- 交換留学
- ダブルディグリー (現代中国学部)
- デュアルディグリー・プログラム (中国研究科)

<https://www.scu.edu.tw/>



輔仁大学

FU JEN CATHOLIC UNIVERSITY

台湾新北市に位置する。1925年、北京で設立され、1961年に台湾で再興されたローマ教皇庁直属のカトリック系私立大学。文学部、芸術学部、理工学部、医学部など12学部を有する。

協定締結日：2015年10月28日

実施プログラム

- 交換留学

<http://www.fju.edu.tw/>



国立金門大学

NATIONAL QUEMOY UNIVERSITY

中国福建省・廈門市からわずか2km余りの距離の金門島に位置する。1997年に国立高雄技術学院金門分校として設立され、2003年に国立金門技術学院として独立し、2010年に国立金門大学となった。

人文社会学部、管理学部、理工学部、健康看護学部の4学部を有する。

協定締結日：2015年11月5日

<https://www.nqu.edu.tw/>



韓国

中央大学校

CHUNG-ANG UNIVERSITY

1918年に設立され、文学部、法学部、医学部、工学部、外国語学部等の文理系学部を有する私立総合大学。ソウルと京畿道安城市にキャンパスがある。

協定締結日：1995年7月19日

実施プログラム

- 交換留学

<https://www.cau.ac.kr/>



建国大学校

KONKUK UNIVERSITY

1946年に設立され、現在では文学部、医学部、工学部等15学部と11大学院を擁する学生数約2万5千人の私立総合大学。ソウルキャンパス内には、広大な人工湖、病院、博物館、言語教育院などがある。

協定締結日：2009年8月11日

実施プログラム

- 交換留学

<https://www.konkuk.ac.kr/>



檀国大学校

DANKOOK UNIVERSITY

1947年に設立され、現在では11学部、9専門大学院を擁する学生数約3万8千人の私立総合大学。

また、世界最大規模の漢字辞典「漢韓大辞典(全16巻)」を完成させたことでも知られている。

協定締結日：2012年7月9日

<https://www.dankook.ac.kr/>



海外協定校紹介

カナダ

クイーンズ大学 QUEEN'S UNIVERSITY

1841年に設立。研究、社会目的、建学の精神と多様性において国際的な名声をもつ、カナダを代表する大学の1つ。毎年春に短期語学セミナー、1セメスター認定留学を実施。(秋学期にはイギリスにあるBader International Study Centreでも1セメスター認定留学を実施している。 <https://www.queensu.ca/bisc>)

協定締結日：2008年10月29日

実施プログラム

- 海外短期語学セミナー
- 1セメスター認定留学

<https://www.queensu.ca/>



トンプソンリバーズ大学

THOMPSON RIVERS UNIVERSITY

カナダ西海岸のブリティッシュ・コロンビア州にある、1970年創立の総合公立大学。

世界90か国以上から集まる約3000人以上の留学生を含む1万4000人の学生が学んでおり、9の学部と、約100以上もの多様なプログラムが開講されている。

協定締結日：2020年3月6日

<https://www.tru.ca/>



フランス

オルレアン大学

UNIVERSITY OF ORLEANS

1306年創立で、法律経済経営学部、文学言語人文科学部、理学部等の学部があり、現在約2万人の学生が学んでいる。

協定締結日：1996年2月28日

実施プログラム

- 交換留学
- 海外短期語学セミナー

<https://www.univ-orleans.fr/>



パリ・ディドロ(第7)大学

UNIVERSITY PARIS DIDEROT

12世紀に設立されたパリ大学が1960年13大学に分割され現在の校名になった、文、法経、社会、理・工、医科歯科学の各学部を擁する最も有力な国立文理総合大学。

協定締結日：2012年2月14日

実施プログラム

- 交換留学

<https://www.univ-paris-diderot.fr/>



ドイツ

ブレーメン経済工科大学

BREMEN UNIVERSITY OF APPLIED SCIENCES

1988年創立の技術系専門大学で経済と技術研究を中心に実学的な教育が行われており、国際化推進にも積極的に取り組んでいる。

協定締結日：1994年1月27日

実施プログラム

- 交換留学

<https://www.hs-bremen.de/>



ブレーメン大学 世界経済・国際経営研究所

UNIVERSITY OF BREMEN INSTITUTE FOR WORLD ECONOMICS AND INTERNATIONAL MANAGEMENT

文系・理系の総合大学で、大学院と同大学の世界経済・国際経営研究所との学術・教育交流協定が相互間で締結されている。

協定締結日：1996年6月12日

<http://www.uni-bremen.de>



リトアニア

ミーコラス・ロメリス大学

MYKOLAS ROMERIS UNIVERSITY

2004年にリトアニアの首都ビリニュスに設立された国立大学で、約15,000人の学生が学ぶ同国最大の大学の1つ。

大学名となっているミーコラス・ロメリス(1880年-1945年)は、リトアニア国憲法の草案者であり、同大学は法学部に強みを有している。

協定締結日：2016年6月15日

実施プログラム

- 交換留学

<https://www.mruni.eu/>



オーストラリア

モナッシュ大学

MONASH UNIVERSITY

1961年に創立されて以来わずか30年の間に世界的な教育水準と研究の実績を有する世界有数の名門校となった。

オーストラリアで最も規模が大きな大学の1つ。

協定締結日：2004年5月19日



<https://www.monash.edu/>

クイーンズランド大学*

UNIVERSITY OF QUEENSLAND

東海岸に位置するクイーンズランド州のブリスベンにある州内最古の総合大学。

施設、研究などの様々な分野で最高峰と言われる国内8つの大学で構成された、Group of Eightの1つとしても有名。

実施プログラム

- 海外短期語学セミナー

<https://www.uq.edu.au/>



イギリス

バーミンガム大学

UNIVERSITY OF BIRMINGHAM

文学部、経営学部、法学部、工学部、医学部、理学部等の学部を有する総合大学。

協定締結日：2000年12月22日



<https://www.birmingham.ac.uk/>

オックスフォード・ブルックス大学

OXFORD BROOKES UNIVERSITY

社会科学・法律、芸術・人文科学、経営学部等8学部で、国際色豊かで総学生数の20%を留学生が占めている。

協定締結日：2002年6月28日



<https://www.brookes.ac.uk/>

エクセター大学*

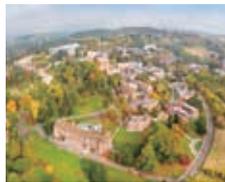
UNIVERSITY OF EXETER

ロンドンから電車で2時間半のところに位置するデヴォン州のエクセターは、治安の良さや自然の美しさが住みやすい街として人気。また、エクセター大学はイギリスの優良大学上位10位に常にランクインする程の高い評価を受けている。

実施プログラム

- 海外短期語学セミナー

<https://www.exeter.ac.uk/>



ニューカッスル大学*

NEWCASTLE UNIVERSITY

ロンドンから電車で3時間のところに位置するイングランド北部の都市、ニューカッスル・アポン・タイン市にあり、イギリスの優良大学ランキングでも常にトップ10に数えられる人気校。

留学生を対象としたプログラムやサービスが充実しており、留学生でも快適に生活を送れる環境が整えられている。

実施プログラム

- 1セメスター認定留学

<https://www.ncl.ac.uk/>



タイ

ナレースワン大学

NARESUAN UNIVERSITY

理科系、および日本語学科を含む文科系の学部を有する国立の総合大学。22の学部があり、約2万人の学生が学んでいる。

協定締結日：1999年6月23日

実施プログラム

- 交換留学

<https://www.nu.ac.th/>



シンラパコーン大学

SILPAKORN UNIVERSITY

1943年に設立された国立総合大学。

美術および考古学分野では、タイ国内で最高峰の大学である。

現在は、12の学部と国際カレッジ、大学院等があり、国内3か所のキャンパスで約2万人の学生が学んでいる。

協定締結日：2020年6月9日

実施プログラム

- 交換留学

<https://www.su.ac.th/en/general.php>



海外協定校紹介

ベトナム

貿易大学 FOREIGN TRADE UNIVERSITY

同大学は、ベトナムの経済系大学の中でトップに位置付けられており、同国で最も人気の高い難関大学の1つ。7つの学部の中にビジネス外国語学部を有しており、ベトナムで最初に日本語学科を設置した大学でもある。総学生数は約23,000人で、ハノイに本校キャンパスを構えるほか、ホーチミンにもキャンパスを有している。

協定締結日：2016年5月18日

実施プログラム

- 交換留学

<http://www.ftu.edu.vn/>



マレーシア

南方大学学院★

SOUTHERN UNIVERSITY COLLEGE

華人社会の強い支持を受け、マレーシア初の華人系私立高等教育機関として1990年に設立。

7つの学部の1つである人文社会学院は、本学の現代中国学部と学部間協定を結んでいる。

実施プログラム

- 現地プログラム（現代中国学部）

<https://www.southern.edu.my/>



インドネシア

ムラワルマン大学

MULAWARMAN UNIVERSITY

東カリマンタン州サマリダ市にムラワルマン高等学校として1962年に設立され現在に至る、約3万5千人以上の学生が通う国立総合大学。

協定締結日：2010年3月29日

<https://unmul.ac.id/>



※★印のついた大学は、大学間協定校ではありませんが、毎年愛知大学との留学プログラムを実施しています。

さくら21プロジェクト

グローバル化した社会では、異なる価値観や文化的背景をもつ人々との交流がますます盛んになります。そこでは、互いの理解を深めることはもちろんのこと、自らを理解しそれを外に向けて発信する力も必要とされます。日本に関する知識を備え、それを伝える「日本理解」「日本発信」に関する取組を、愛知大学では「さくら21プロジェクト」と称し実施しています。

「さくら21科目」は、共通教育科目と専門教育科目にそれぞれ配置されており、政治・経済・歴史など、日本に関する幅広い基本的知識を身につけます。「さくら21プロジェクト」は、その知識を発揮する実践の場として、様々な活動に取り組んでいます。

JICA中部外国研修員との交流

おもてなしtrip

愛知県の観光スポットや日本の文化を紹介



ジェネラルオリエンテーション

日本に関する講義を英語で研修員と共に聴講



海外の大学生とのオンライン交流

海外協定校のうち、9つの国・地域の大学と実施中!!

- ・厦門大学(中国)
- ・国立台湾師範大学(台湾)
- ・ナレスワン大学(タイ)
- ……など



外国語、日本語で交流!



teamsなどを活用しお互いの文化を紹介!

台湾交流プログラム

夏は日本、春は台湾へ相互訪問し、5日程度のフィールド調査を行います。



ぜひ参加してみませんか!?

他にもいろいろな活動を行っています

日本文化体験教室

華道、茶道、空手などの文化体験教室のお手伝い(1Fの会主催)



さくら21リソースルーム (名古屋校舎講義棟2階) 開室時間：月曜日～金曜日 AM9:00～PM5:00





Global Lounge に行ってみよう!

学生の外国語能力の向上、学生間や学生・教員間の異文化交流・理解促進、外国語による発信力やプレゼンテーション能力の養成を目的としたスペースです。外国語の学習や海外留学情報の収集ができるほか、各種の交流イベントを行います。



[開室時間]

平日 9:00~17:00

※土日、祝日、創立記念日、休業期間など、
大学が定める休暇期間は閉室します。
※最新の情報は学内掲示をご確認下さい。

外国語フリートーク



参加無料! ネイティブの先生と外国語の会話練習を行います(英・中・仏)。レベル別、少人数制なので気軽に参加して下さい。

グローバルリーダー育成プログラム



中上級者対象の有料英語講座です。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて英語での発信力を高めます。また、大学から受講料補助があります。

留学・語学資料閲覧、PC利用



- 留学経験者アンケート・留学先大学の情報閲覧
- 語学資格試験や書籍の閲覧
- PC利用(語学学習・留学情報検索)

グローバル人材育成講演会



愛知大学の卒業生や外部講師をお招きして、主に海外と関わる仕事の魅力ややりがい、大変なことなどをお話し頂きます。将来、国際的に仕事をしたい方は必見です。

留学説明会、フェア



協定留学生から現地の大学について紹介頂いたり、海外に留学していた先輩から海外留学体験談をお話し頂きます。

留学生との交流イベント



本学学生(ピアサポーター)が、留学生との交流イベントを企画しています。友達づくり、語学の勉強にもってこいの場です!
企画例:ウェルカムパーティー、ハロウィンパーティー



Language Center を活用してみよう!

本学で開講している英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、そして日本語(外国人留学生用)をはじめ世界約35カ国の豊富な資料を取り扱っており、これらの資料を使用して自主学習スペース(LLメディアルーム)の好きなブースで自由に視聴ができます。講義のない時であれば、LLシアタールームで臨場感たっぷりの映像鑑賞も可能です。



LLメディアルームの利用には手続きが必要となります

[開室時間]

平日 9:10~19:00

ランゲージカフェ Language Cafe



外国人講師や留学生と英語、フランス語、日本語を話しながら楽しく交流ができます。お昼休みには、お弁当を持ち寄っての交流も可能です。

英語は月・火・水・金曜日、フランス語は金曜日(お昼休み)、留学生と日本語を使って交流できる「グローバル・カフェ」は水曜日に開催しています。ぜひご参加ください!

留学全般

Q 留学してみたいけど、
何から始めたらいいですか？

A まずは、留学することによってどんな自分になりたいのかを自分自身によく問い掛けてみてください。自分の気持ちを再確認することから始めましょう。目標を定め、積極的な姿勢で取り組んでください。

Q ワーキングホリデーを
利用してみたいのですが？

A 留学とは性格が異なりますので、国際交流課ではワーキングホリデーの紹介をしていません。各自で情報を収集して検討してください。

Q 留学しておくのと就職に有利ですか？

A 2年次の夏から3年次の春にかけて留学をスタート出来れば就職活動にそれほど支障をきたさないと考えられますが、単に留学していただけでは、就職活動で自分のセールスポイントにはできないでしょう。留学の計画時点でその動機をはっきりさせ、留学先での生活体験や語学力向上のための努力などを通して、そこから何を学ぶことができたかを説明できるよう自己分析をすることが不可欠です。

就職の情報はインターネットや友人等から収集し、キャリア支援センターとの相談を密にして効率よく就職活動に取り組むようにしてください。

Q 新型コロナウイルスやインフルエンザなどの
感染症の心配はありますか？

A 外務省海外安全ホームページ(<https://www.anzen.mofa.go.jp>)や本学のホームページなどで常に各地の感染状況や留意事項等の確認をするようにしてください。状況によっては、大学の指示により留学の取り止めや中断となる場合もあります。

Q インターネットで海外留学について
情報を得ることができますか？

A 本冊子 P.16 に記載の各サイトなども参考のうえ情報収集するようにしてください。

Q 大学内で国際交流や語学を身に付けられる
プログラムや施設はありますか？

A 名古屋校舎厚生棟5階のグローバルラウンジでは、留学生と交流できるイベントや留学報告会なども随時開催しています。豊橋校舎においても3号館1階の語学教育研究室にて同様のイベントを定期的実施しています。語学上達に向けたプログラムや、各言語の教材を用意していますのでぜひ活用してみてください。詳細は、本冊子 P.31 をご覧ください。

海外短期語学セミナー

Q セミナーに参加すると単位をもらえると
聞いたのですが？

A セミナー実施先での成績が本学の単位認定基準に達していない場合、単位は認定されません。また、卒業年次生が春期セミナーに参加しても単位は認定されません。単位の認定がされた場合、翌学期の成績表に「N」で表記されます。また Live Campus でも確認することができます。

Q 語学以外に勉強できる科目がありますか？

A 語学力向上の他に、その国の文化や歴史などの「異文化」に触れることもセミナーの目的です。こうした目的に沿って、講義のほかエクスカッションや文化体験を企画しています。

交換・認定留学

Q 何年次生から留学することができますか？

A 出願資格を満たしている場合、2年次から留学は可能です。学部1年次の学生は出願にあたり学部で最低半年以上在学していなければならないことが定められています。半年以上在学し、かつその他の出願資格を満たした場合、1年次秋学期に実施される選考試験に出願することも可能です。

Q 交換留学と認定留学の違いについて
教えてください。

A 交換留学の場合は留学先の授業料が免除となります（本学の授業料等は全額納入する必要があります）。認定留学の場合は留学先の授業料が自己負担となりますが、本学に納入する授業料が半額に減免されます（教育充実費は全額納入する必要があります）。一方、交換留学であっても認定留学であっても単位の認定方法、認定される単位数の上限は同じです。また「交換留学奨励金」、「認定留学奨励金」がそれぞれ給付されます（一部例外あり）。

Q 授業後や週末はどのように過ごしますか？

A プログラムによって異なりますが、授業後は学校のアクティビティに参加や、ダウンタウンに出かけて買い物へ行くなど、自由な時間を過ごします。週末はホストファミリーとの時間を楽しんだり、またはエクスカーションで観光地を訪れることもあります。

Q これまで一度も海外へ行ったことがありません。参加しても大丈夫ですか？

A これまでにも海外経験が無かった方も多くいますが、問題なく参加されています。セミナー期間中は、渡航中も含め全て団体行動です。また、渡航前にオリエンテーションも行うので、初めての方も安心して参加いただけます。しかし、現地での滞在方法はホームステイとなりますので、より充実した期間を過ごすためにも、出発までに自分のできる限りの準備を行うようにしてください。（日常会話程度）

Q ホームステイ先に自分の要望を伝えることができますか？

A 全てのホームステイ先について、参加者の希望（喫煙の有無、家族、ペットなど）を調査し、受入先の大学に連絡しています。しかし、全ての希望が受け入れられるとは限りません。ホームステイ先を指定したりすることもできません。そもそもホームステイとは、一般の家庭から部屋を提供していただきファミリーと現地の生活を共にすることで、文化や習慣の違いを体験し、異文化への理解を深めることが目的です。話しかけてもらうことや何かをしてもらうことを待つだけの受け身の姿勢ではなく、自主的に手伝いをし、行事も自分から申し出て伝えるなど積極的に動くことが大切です。また、海外では様々な背景をもつ人々が暮らしており、各家庭で、ホストファミリーの家族構成や生活スタイルなどは様々です。これも留学ならではの体験ですので、前向きにとらえて積極的な姿勢で臨んでください。ただし、ホームステイを始めて、どうしても我慢できないことや、トラブルが発生したときはためらわずに受け入れ先大学の担当者か引率者、あるいは国際交流課へ知らせてください。

Q どのような科目が単位認定されやすいですか？

A 所属する学部で開講している科目と同等の内容と判断される科目であれば、単位認定の申請が可能だと考えられます。ただし申請された内容は関係機関で審議されますので、具体的にどの科目と特定することはできません。留学前に名古屋／豊橋教務課（大学院生の場合は大学院事務課）から配布されている「履修要項」や「開講科目の紹介」をよく読み、自分の履修状況とあわせて、単位認定について考え、留学前に過去の単位認定の状況等について教務課（大学院生は大学院事務課）に相談すると良いでしょう。

Q 宿舎でインターネットが使えますか？

A ほとんどの滞在先でインターネット環境が整備されています。

Q 出願したら必ず希望の大学に行くことができますか？

A 交換・1セメスター認定留学生として留学するためには、選考試験に合格する必要があります。

自分自身で希望する留学先大学等への手続きを行う認定留学（教務課扱い）には、選考試験はありません。各自で手続きを行ってください。

Q ビザの取得や航空券、宿舎の手配は自分自身で行う必要がありますか？

A このような手続きも留学の一部として自分自身で行っていただきます。国際交流課からは、手続きの進め方について指導を行います。また、随時わからないことがあれば一緒に相談をしながら進めていきましょう。宿舎については、指定の寮等に入ってください（但し、ハワイ、ドイツへの留学では、宿泊先を自分で手配することになります）。



留学までのスケジュール(参考)

以下のスケジュールを参照し、留学の準備を進めると良いでしょう。

	個人で留学を計画する場合	愛知大学の留学プログラムを利用する場合
1年前	<ul style="list-style-type: none"> ◆留学計画・情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや留学情報誌、本学グローバルラウンジ等で、留学情報の収集、留学までのプランニング ・留学で必要となる語学試験、スコアを確認し、出願時までに必要スコアを取得できるよう、計画的に試験の勉強を進める 英語圏…TOEFL 中国・台湾…HSK 等 	<p>希望者は国際交流課に出願</p>
10カ月前	<ul style="list-style-type: none"> ◆大学、語学学校等選択 <ul style="list-style-type: none"> ・留学目的を明確にした上で、自分の希望に沿った大学、語学学校を選択 ・不明点を希望する大学等に電子メール等で直接問い合わせ ◆願書請求 <ul style="list-style-type: none"> ・各大学等のHPから請求、申請までできるケースが多い 	<p>選考試験実施</p>
8カ月前	<ul style="list-style-type: none"> ◆出願（出願方法は大学等により異なるので、各大学の指示に従うこと） <ul style="list-style-type: none"> ・志望大学等へ必要書類を提出する ・提出書類は必ず各自でコピーを取り、保管すること ・パスポートの有効期間の確認。留学期間中に有効期間が切れる場合、出願までに更新しておくことが望ましい 	
6カ月前	<ul style="list-style-type: none"> ◆入学合否決定 <ul style="list-style-type: none"> ・入学通知書とあわせてビザ申請時に必要な書類が一緒に届くので、コピーを取り保管 ・入学に関わる各種情報（出迎え有無・寮の申込み・オリエンテーション日程等）の確認 	
3カ月前	<ul style="list-style-type: none"> ◆出発準備 <ul style="list-style-type: none"> ・ビザ申請（大使館、ビザセンターで手続き。郵送・持参が一般的だが、ホームページから申請（予約）可能な場合も。また、有料で代行業者を使う方法も） ・面接を受ける必要がある場合は日程を確認 ・航空券・外貨・クレジットカード・海外旅行傷害保険等の手配 ・半年以上の中国・台湾留学の場合、所定フォームにより健康診断を受診 	<ul style="list-style-type: none"> ・留学ガイダンス ・「<u>留学願</u>」を名古屋／豊橋教務課または大学院事務課に提出 ・「<u>交換留学奨励金</u>」「<u>認定留学奨励金</u>」給付申請書を国際交流課に提出
出発直前	<ul style="list-style-type: none"> ◆最終確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ビザ関係の書類（I-20, JW202, DS2019など）は必ず持参すること、入学の手続にも必要 ・留学先大学等の担当事務室、担当者の氏名、連絡先を再度確認 ・現地の情報を外務省「海外安全ホームページ」などで確認 ・滞在先の連絡先、留学中の連絡方法（メール、SNS等）を、家族・知人等としっかり共有しておくこと ・外務省海外安全情報配信サービス「たびレジ」の登録（3カ月未満の留学の場合） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>渡航方法連絡表</u>」、航空券のコピー（Eチケット）、海外旅行傷害保険証券のコピーを国際交流課に提出
出発	<ul style="list-style-type: none"> ◆到着後の手続 <ul style="list-style-type: none"> ・現地到着後、留学先大学等に到着の旨を連絡。可能であれば当日中に事務室まで出向く。必ず無事到着した旨を家族に連絡 ・日本大使館・領事館に「<u>在留届</u>」提出（インターネットによる電子申請も可） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>講義概要書</u>」について現地の担当事務室や教員に相談すること
現地では	<p>現地の情報を外務省「海外安全ホームページ」、現地の日本国大使館・領事館のホームページなどで確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>留学状況報告書</u>」を提出 ・留学先で1泊以上居所を離れる際は「<u>正課外滞在先連絡票</u>」を国際交流課に提出
帰国前	<ul style="list-style-type: none"> ◆帰国前の手続 <ul style="list-style-type: none"> ・居住していた部屋の片付け、日本への荷物の発送、銀行口座の閉鎖、携帯電話等の解約等々すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>講義概要書</u>」、「<u>成績証明書</u>」入手 ・帰国日を留学先の担当事務室、家族、国際交流課に連絡
出国時	<ul style="list-style-type: none"> ◆出国時の手続 <ul style="list-style-type: none"> ・空港にて各自忘れずにビザ関係の手続を行なうこと（アメリカの場合） 	
帰国時	<ul style="list-style-type: none"> ◆帰国時の手続 <ul style="list-style-type: none"> ・無事帰国した旨を留学先大学等の担当事務室に連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員の指導を受けて単位認定申請の準備 ・「<u>留学帰国報告書</u>」等を名古屋／豊橋教務課または大学院事務課に提出 ・「<u>留学状況報告書（帰国）</u>」「<u>留学体験記・アンケート</u>」を国際交流課に提出
帰国後	<ul style="list-style-type: none"> ◆帰国後の手続 <ul style="list-style-type: none"> ・日本大使館・領事館に「<u>帰国届</u>」提出（インターネットによる電子申請も可） 	<p>国際交流課、所属学部等で行われる留学に関する行事・イベント等に「ピアサポーターAide」として協力参加。</p>

大学内でも 国際交流を楽しもう!

愛知大学では、毎年世界各国の海外協定校から留学生を受け入れています。

協定留学生の声

2019年度 北京第二外国語学院(中国) Yさん

愛知大学へ留学することを薦めます。協定留学生を担当する先生たちはとても優しく、責任感があります。いつも私たちのことを気にかけてくれ、何かトラブルがあると辛抱強く助けてくれたので、とても感動しました。コースも陶芸や空手道や茶道など体験活動が展開され面白いです。また、学期中に学部生との研修旅行もあります。平日はみんなでGlobal Loungeに集まり、ご飯を食べながらおしゃべりをします。いろいろな活動で、留学生だけでなく、日本人の友達も作れます。名古屋校舎は、校内に図書館やジムや食堂などの施設が全てあり、さらに名古屋駅に近くて、どこへ行くのも便利です。宿舎も学校に近くて、その周りに商店やコンビニがあり便利がよく、安全性が高いので、素晴らしいです。共同洗濯機や郵便箱や室内冷蔵庫などの設備も完備しています。愛知大学で楽しい時間を過ごせました。



「伝統的日本人を学ぶ」の授業で陶芸体験(常滑市)



2019年度 ナレスワン大学(タイ) Sさん

まずは、愛知大学での留学をサポートしてくれた先生方や職員の方々に感謝しています。自分の国と違う風景、文化、習慣の国で暮らし始めて、いろんな人々と出会って、考え方や価値観なども広がっていった気がします。愛知大学には留学生のための日本語コースがあり、また、様々な日本文化を体験できる授業もあります。そして、勉強のことから生活の問題、小さな悩みまで気にかけてくれた先生方や国際交流課の方々のおかげで、毎日充実した生活を送ることができました。愛知大学へ留学すれば、日本人の友達が数多くできたり、日本語の確実な上達を得ることが可能になります。



通訳のお仕事
博物館明治村(犬山市)



2019年度 ブレーメン経済工科大学(ドイツ) Rさん

愛知大学の留学生プログラムは非常に充実しています。国際交流課の職員の方は何かあると助けてくれ、留学中は先生やクラスメイトと大学でも宿舎でも楽しい時間を過ごすことが出来ました。名古屋は大都市ですが、東京ほど混雑していないので、住みやすいです。さらに、京都などの周辺地域への週末旅行にも非常に便利です。留学中の良い思い出の一つは、外国人留学生研修旅行に参加し、様々な日本文化を体験して、更に日本への理解を深められたことです。また、何か質問や悩みがある時は職員やグローバルラウンジで日本人学生等にいつでも相談できたり、サポートしてもらえる環境があります。



卓球部のみんなと



学内では、留学生との交流を楽しめるイベントを行っています! 身近な場所で国際交流を体験してみませんか!?



 Study Abroad Guide

海外留学のてびき

2021年4月

発行: 愛知大学国際交流課



愛知大学国際交流課 ■名古屋キャンパス ■豊橋キャンパス

名古屋キャンパス

〒453-8777

愛知県名古屋市中村区平池町4-60-6

TEL052-564-6116 FAX052-564-6216

豊橋キャンパス

〒441-8522

愛知県豊橋市町畑町1-1

TEL0532-47-4131 FAX0532-47-4179

受付時間	月～金 9:00～12:00 / 13:00～17:00	mail	inted@aichi-u.ac.jp
------	------------------------------	------	---------------------